

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	地域特性等に応じた土地利用の推進	施策コード	61001	施策主管部課	都市部 都市計画課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	適正な土地利用の実現			関係課	公園緑地課
	(3) 節の目的	快適でくらしやすいまちをつくるため、地区特性等に応じたきめ細かな土地利用方針を確立し、これに即した規制・誘導や良好な基盤整備をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	地区特性等に応じた適正な土地利用を実現するため、市街化区域では、都市計画で定める用途地域などの地域地区を適正に配置するとともに、地区の状況に応じて必要な見直しを行います。また、市街化調整区域では、自然環境の保全・創出に努めるとともに、新たな都市の発展を担う都市的土地利用について検討します。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市域			
どういう状態に		地域特性等に応じた適正な土地利用が行われている				
(6) 施策実施上の課題と対応	都市計画では適正な土地利用の誘導を図るため、区域区分、地域地区、都市施設等を定めている。社会情勢の変化や、市のまちづくり方針、都市計画道路の整備進捗等を踏まえながら、適切な土地利用の見直しを行う必要がある。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 都市の発展を担う都市的土地利用の実現した地区	指標として、都市の発展を担う都市的土地利用を実現した地区数を選定した。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	地区	1	1	1	1
		実績値		1	1		
		達成率		100.00	100.00		
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(9) 予算 (千円)	事業費	44,091	11,188	1,193	3,128
	人件費	33,669	29,993	24,653	23,763
	合計	77,760	41,181	25,846	26,891
(10) 実績値 (千円)	事業費	44,091	11,045		
	人件費	33,669	29,993		
	合計	77,760	41,038		

施策を構成する事務事業

事務事業名	都市計画に関する情報の管理・提供				課名	都市計画課		
指標	都市計画情報に関するホームページアクセス件数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	27,220	目標値	12,000	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	27,220	達成率	226.83			予算額	189	4,895
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	128	4,895

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市のまちづくりの根幹となる都市計画に関する情報の提供であり、貢献度は高い。

事務事業名	都市計画に関する総合調整				課名	都市計画課		
指標	関係各課との調整実施率（調整完了件数/相談・課題発生件数）				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	4,916	11,570
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	4,915	11,570

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

都市づくりの基本に関する事務事業であり、貢献度、優先度ともに高い。

事務事業名	都市計画の見直し（決定・変更）事務				課名	都市計画課		
指標	審議案可決率（可決件数/変更案件数）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	153	6,230
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	72	6,230

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市の都市計画の基本に関する内容であるため、貢献度は高い。

事務事業名	都市計画施設に関する建築規制				課名	都市計画課		
指標	届出のあった都市計画法第53条に関する申告書、都市計画法第53				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	11	目標値	10	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	7	達成率	70.00			予算額	89	2,225
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	89	2,225

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

都市計画法第53条及び生産緑地法第8条の規定による許可事務は、法定事務であり事業の優先度は高い。

事務事業名	区域区分等に関する都市計画の見直し				課名	都市計画課		
指標	都市計画基礎調査の進捗率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	-	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	5,841	3,560
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	5,841	3,560

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

区域区分や区域マスタープランの見直しは、市の土地利用に大きな影響を与えるため、貢献度は高い。

事務事業名	生産緑地事務				課名	公園緑地課		
指標	申出件数に対し適切に事務処理を行った件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	0	目標値	1	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	2	達成率	200.00			予算額	0	1,513
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	1,513

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

生産緑地法に基づく事務であり、今後も引き続き推進していく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
少子・高齢化が進展し人口減少が続く中、我孫子市を持続可能な自立した都市として発展させていくため、住宅都市にふさわしい快適で暮らしやすいまちづくりや、まちに活力を生み出す土地利用を進めていく上で必要な施策である。	①～④ 本施策は、節の目標の根幹をなす手段であり、各事業は施策を推進する上で有効である。 ⑤ 行政が主導する施策であるが、方向性を新たに定める場合は、市民の意見が計画に反映できるよう努めている。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
都市計画で定める用途地域や地区計画、生産緑地地区などの、よりきめ細やかな土地利用方針について、今後も引き続き必要な見直しを進めていく必要がある。 新たな都市の発展を担う土地利用について、関係課が策定する計画及び事業の進捗にあわせて、必要となる都市計画関係手続きや調整を進める必要がある。	①～④ 部の運営方針、課の目標に沿った施策であり、節の目的達成に効果的な施策である。 ⑤ 都市計画の提案に関する情報を発信するとともに、制度の活用を誘導するための準備を進めた。 ⑥⑦ 節の目的を達成するためには、さらなる取り組みが必要であり、人員体制の強化が必要と考える。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	適正な規制・誘導施策の推進・運用	施策コード	61002	施策主管部課	都市部 市街地整備課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	適正な土地利用の実現			関係課	公園緑地課 農業委員会事務局	
	(3) 節の目的	快適でくらしやすいまちをつくるため、地域特性等に応じたきめ細かな土地利用方針を確立し、それに即した規制・誘導や良好な基盤整備をすすめます。				都市計画課 建築住宅課	
	(4) 施策の目的・展開方向	無秩序な開発を防止し、適正な土地利用を実現するため、都市計画法をはじめとする関係法令や開発行為に関する条例等に基づき、開発行為や建築行為の適正な規制・誘導を進めます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	宅地開発等事業者に				
どういう状態に		開発行為や建築行為の適切な規制・誘導が行われている。					
(6) 施策実施上の課題と対応	我孫子市開発行為に関する条例及び我孫子市開発行為等運用・審査基準は、実務の積み重ねなど、必要に応じて適宜見直すものとする。						

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 開発許可件数/開発許可申請件数	関係する法令及び条例等に基づいて適正かつ適切に規制の誘導が図られた割合を把握する。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		100	100		
		達成率		100.00	100.00		
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	28,653	19,567	19,985	19,892
		人件費	111,012	110,449	110,004	110,004
		合計	139,665	130,016	129,989	129,896
	(10) 実績値 (千円)	事業費	28,653	19,049		
		人件費	111,012	110,449		
合計		139,665	129,498			

施策を構成する事務事業

事務事業名	開発行為等の紛争に係る調停				課名	都市計画課		
指標	紛争解決率（あっせん申出に至らなかった件数/事前相談件数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	2,670
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	2,670

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

法定事務ではないが、一定規模以上等の建築や開発行為に係る市民の生活環境への影響について、当事者間の調整により紛争の未然防止等が図られていることから、事業を維持・継続する必要がある。

事務事業名	各種届出の受理及び指導業務				課名	建築住宅課		
指標	処理件数/届出件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	132	5,340
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	132	5,340

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

事務事業に貢献しているため、今後も継続すべき事業である。

事務事業名	審査会及び審議会に関する業務				課名	建築住宅課		
指標	許可等の同意答申率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	205	3,115
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	99	3,115

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

建築基準法に基づき、設置が義務付けられている事業である。

事務事業名	長期優良住宅等の認定業務				課名	建築住宅課		
指標	認定処理率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	132	4,895
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	132	4,895

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

長期優良住宅普及促進法等に基づき市に提出された認定申請は、市で行わなければならない事業であり、優先して行う業務である。

事務事業名	建築に関する指導および審査業務				課名	建築住宅課		
指標	確認及び検査の処理率				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	2,004	9,345
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	2,004	9,345

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

建築基準法に基づく確認審査業務は、法に審査期間が定められているため、優先的に業務を進める必要がある。

事務事業名	建築基準法に基づく許可及び認定業務				課名	建築住宅課		
指標	処理率（審査交付件数/申請受付件数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	132	3,115
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	132	3,115

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、建築基準法に基づく許可及び認定制度により、適正な土地利用を実施するという目標に不可欠な事業であるため今後も引き続き現状通り推進していく。

事務事業名	道路の指定に関する業務				課名	建築住宅課		
指標	道路位置指定率（道路位置指定件数/申請件数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	92	1,869
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	92	1,869

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

建築基準法に基づく事務のため、今後も継続すべき事業である。

事務事業名	違反建築物の処置業務				課名	建築住宅課		
指標	是正率（当該年度指導完了件数/当該年度指導件数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	92	2,225
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	92	2,225

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、違反建築物を未然に防止・是正指導をしていくことで、快適で暮らしやすい街を実現するという施策目的から、今後も継続すべき事業である。

施策を構成する事務事業

事務事業名	民間確認検査機関報告書の事務処理業務				課名	建築住宅課		
指標	各種報告書の審査・指導の処理率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	1,314	12,460
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	1,314	12,460

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

建築基準法に基づく民間確認検査機関からの報告であるため、必須な業務である。

事務事業名	墓地許認可事務				課名	公園緑地課		
指標	審査件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	0	目標値	1	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	2	達成率	200.00			予算額	0	1,335
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	1,335

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

法律及び計画地周辺の生活環境や住民感情を考慮しながら、条例に沿った適切な許可事務を継続、推進していく。

事務事業名	公有地の拡大の推進に関する法律に係る事務				課名	市街地整備課		
指標	処理件数/届出件数、申出件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	2,670
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	2,670

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も同様に実施していく。

事務事業名	国土利用計画法に基づく土地売買等届出書に係る事務				課名	市街地整備課		
指標	処理件数/土地売買等届出件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	2,670
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	2,670

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も今までどおり進めていく。

事務事業名	違反宅地開発事業是正指導事務				課名	市街地整備課		
指標	是正件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	0	目標値	5	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	0	8,455
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	8,455

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も今までどおり進めていく。

事務事業名	都市計画法施行規則第60条に基づく建築証明事務				課名	市街地整備課		
指標	証明率（証明件数/申請件数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	4,005
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	4,005

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も今までどおりに事業を進める。

事務事業名	都市計画法第29条に基づく開発行為許可事務				課名	市街地整備課		
指標	許可率（許可件数/申請件数）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	66	14,240
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	41	14,240

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も今までどおりに事業を進める。

事務事業名	都市計画法第32条に基づく開発行為事前協議事務				課名	市街地整備課		
指標	事前協議締結率（事前協議締結件数/事前協議申請件数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	11,570
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	11,570

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も今までどおりに事業を進める

施策を構成する事務事業

事務事業名	都市計画法第43条に基づく建築許可事務				課名	市街地整備課		
指標	許可率（許可件数／申請件数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	4,005
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	4,005

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も今までどおりに事業を進める。

事務事業名	農地利用の適正化				課名	農業委員会事務局		
指標	耕作放棄地への利用意向調査及び違反転用の是正件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	31	目標値	35	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	35	達成率	100.00			予算額	4,800	5,340
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	4,650	5,340

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。

事務事業名	農地法3条・4条・5条の許可及び4条・5条の届出				課名	農業委員会事務局		
指標	申請、届出のあった適正な審査執行率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	6,720	5,340
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	6,720	5,340

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。

事務事業名	農業委員会の運営管理				課名	農業委員会事務局		
指標	適正な審議が行われる準備率（現地調査・資料の提供）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	3,878	5,785
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	3,641	5,785

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
①、②都市計画法及び建築基準法等で位置付けられている。 ③施策目標は、法及び条例に基づくものであり妥当である。 ④他の法令及び施策との連携を踏まえ施策の推進を図っている。 ⑤許可及び確認事務に関するもののため、市民との直接的な協働はなじまない。 ⑥財源配分は適切である。 ⑦人員配置は適切である。	①～④法令及び条例等に基づき実施する事業であり、妥当な施策である。 ⑤許可及び確認事務という行政処分等に係る事務の内容であることから、市民との協働はなじまない。 ⑥財源配分は妥当である。 ⑦人員配置は妥当である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
①、②都市計画法及び建築基準法等で位置付けられている。 ③施策目標は、法及び条例に基づくものであり妥当である。 ④他の法令及び施策との連携を踏まえ施策の推進を図っている。 ⑤許可及び確認事務に関するもののため、市民との直接的な協働はなじまない。 ⑥財源配分は適切である。 ⑦人員配置は適切である。	①～④法令及び条例等に基づき実施する事業であり、妥当な施策である。 ⑤許可及び確認事務という行政処分等に係る事務の内容であることから、市民との協働はなじまない。 ⑥財源配分は妥当である。 ⑦人員配置は妥当である。
改善検討	
○要 ●不要	
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	地区の特性をいかした良好な市街地整備の推進	施策コード	61003	施策主管部課	都市部 都市計画課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	適正な土地利用の実現			関係課	建築住宅課
	(3) 節の目的	快適でくらしやすいまちをつくるため、地域特性等に応じたきめ細かな土地利用方針を確立し、それに即した規制・誘導や良好な基盤整備をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	快適でくらしやすいまちをつくるため、地区の特性をいかしながら、地区計画や土地区画整理事業などの手法により、良好な市街地整備を進めます。また、施行中の我孫子駅前土地区画整理事業と布佐駅南側まちづくり事業の早期完了をめざします。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市域			
どういう状態に		良好な市街地が整備されている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	地区の特性を踏まえた整備手法としては、地区計画を活用したまちづくりが有効と考える。そのため地区計画制度の周知を強化するとともに地区住民の発意による地区計画の促進に努める。土地区画整理事業については、完了に向けて清算金の分割徴収事務を行う。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 清算金徴収率	清算金徴収の完了後に、事業全体の完了手続きを行うため、徴収率を指標とする。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	26	43	60	77
		実績値		26	43		
		達成率		100.00	100.00		
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	291,852	3,014	2,794	2,846
		人件費	26,100	25,810	8,455	8,455
		合計	317,952	28,824	11,249	11,301
	(10) 実績値 (千円)	事業費	291,852	2,609		
		人件費	26,100	25,810		
合計		317,952	28,419			

施策を構成する事務事業

事務事業名	地区計画の推進				課名	都市計画課	
指標	届出のあった地区計画の審査件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	55	目標値	50	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	55	達成率	110.00			予算額	2,464
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	2,410

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

法定事務であり、事業を継続する必要がある。

事務事業名	土地区画整理事業の業務全般				課名	都市計画課	
指標	土地区画整理事業に係る資料等の提供・照会件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	356	目標値	360	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	205	達成率	56.94			予算額	76
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	70

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

完了した区画整理事業等の情報を今後も提供していく必要がある。

事務事業名	我孫子駅前土地区画整理事業の推進				課名	都市計画課	
指標	清算金の分割納付徴収率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	22	目標値	43	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	43	達成率	100.00			予算額	168
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	129

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市が実施した事業であり、清算金徴収事務の終了まで継続する必要がある。

事務事業名	我孫子駅北口土地区画整理事業の推進				課名	都市計画課	
指標	清算徴収金の徴収割合				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	99.79	目標値	99.86	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	99.79	達成率	99.93			予算額	0
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市が実施した事業であり、清算金の徴収事務の終了まで継続する必要がある。

事務事業名	まちづくり事業の業務全般				課名	都市計画課	
指標	まちづくり事業に関する問い合わせ処理件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	0	目標値	1	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	1	達成率	100.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

引き続き、まちづくり事業の問い合わせや資料の提供を行う必要がある。

事務事業名	地区計画条例及び建築協定認可に関する業務				課名	建築住宅課	
指標	適合率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

地区計画条例項目の適合を審査することにより、地道ではあるが地区の特性を生かした良好な市街地整備に貢献していく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
①、②都市計画法、土地区画整理法等で位置づけられている。 ③妥当である。 ④土地区画整理事業等有効な事業を実施している。 ⑤土地区画整理法で、土地区画整理審議会を設置し意見を求める旨定められているためなじまない。 ⑥適切である。 ⑦適切である。	①～④部の運営方針、課の目標に沿った施策であり、節の目標達成に効果的な施策である。 ⑤土地区画整理法で、土地区画整理審議会を設置し意見を求める旨定められているため、市民との協働は考えられない。 ⑥適切である。 ⑦適切である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
都市計画法及び土地区画整理法等に位置付けられた施策であり、地区計画と建築協定は、市民との協働により、地区の特性をいかした良好な市街地整備を進めた。区画整理は、審議会の設置が義務付けられており市民との協働はなじまないが、土地区画整理法に基づき有効に事業を実施した。 今後も地区計画を活用するとともに、区画整理の清算金事務等を継続するため、区画整理に関する知識や地権者対応等の経験を有する人員の確保と育成を適切に行う必要がある。	①～④ 部の運営方針、課の目標に沿った施策であり、節の目標達成に効果的な施策である。 ⑤ 土地区画整理法で、土地区画整理審議会を設置し意見を求める旨が定められており、市民との協働は該当しない。 ⑥⑦ 引き続き事務を継続するため、人員体制の強化が必要と考える。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	公園の整備・充実と適切な維持管理	施策コード	62101	施策主管部課	都市部公園緑地課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	公園・緑地の整備・充実			関係課		
	(3) 節の目的	公園・緑地の適正な機能と配置に配慮し、より身近で親しみやすい空間として整備するとともに、維持管理のしくみを工夫します。					
	(4) 施策の目的・展開方向	公園・緑地が持つ機能に配慮し、市内に残る貴重な樹林地や城跡、古墳などの歴史的・文化的資源を活用しながら、市街地で公園が不足している一部の区域において公園の整備を検討します。また、誰もが安心して利用できるよう公園のバリアフリー化を進めるとともに、主要公園における遊具の充実を図り、子どもたちも魅力を感じる公園づくりを行います。さらに、老朽化した公園施設の計画的な補修など適切な維持管理に努めます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	公園・緑地				
どういう状態に		公園・緑地の機能と配置に配慮した整備がされている					
(6) 施策実施上の課題と対応	地域ごとの公園の設置状況を検証し、適正な配置に努める						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 公園の数	公園の配置の確認					
	② 公園・緑地の面積	公園・緑地の面積の拡大					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	箇所	222	223	224	225
		実績値		222	222		
		達成率		100.00	99.55		
	②	目標値	ha	150.6	150.7	150.7	150.75
		実績値		150.69	150.68		
		達成率		100.06	99.99		
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	272,671	313,143	231,198	224,093	
		人件費	74,298	64,436	67,551	62,834	
		合 計	346,969	377,579	298,749	286,927	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	272,671	299,333			
		人件費	74,298	64,436			
合 計		346,969	363,769				

施策を構成する事務事業

事務事業名	緑の基本計画の進行管理				課名	公園緑地課		
指標	見直した緑の基本計画での基本方針に則り、施策を実行する。				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	1	目標値	1	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	1	達成率	100.00			予算額	0	1,424
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0	1,424

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

都市緑地法に基づく決定計画であり、緑を総合的かつ計画的に確保していく上で必要である。

事務事業名	市民の森維持管理				課名	公園緑地課		
指標	適切に維持管理された緑地面積				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	3	目標値	4	単位	ha	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	3	達成率	75.00			予算額	6,625	3,560
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	6,414	3,560

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

みどりを育て守っていくためには市民の協力も必要であり、貢献度は高い。

事務事業名	気象台記念公園の整備				課名	公園緑地課		
指標	公園の樹木育成管理率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	57	目標値	71	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	71	達成率	100.00			予算額	1,056	445
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	990	445

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

北側斜面上部にある樹木の健全育成のための剪定に努める。

事務事業名	公園のバリアフリー化推進				課名	公園緑地課		
指標	バリアフリー化修繕工事による快適な大規模公園数				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	10	目標値	11	単位	箇所	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	10	達成率	90.91			予算額	31,383	2,225
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	31,383	2,225

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

公園の安全・安心のためバリアフリー化を推進していく。

事務事業名	公園施設維持管理				課名	公園緑地課		
指標	多くの市民が安心して利用できる施設の公園面積				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	150	目標値	150	単位	ha	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	150	達成率	100.00			予算額	72,255	8,900
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	68,906	8,900

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

安全で安心な公園とするため引き続き管理修繕等を行っていく。

事務事業名	公園維持管理				課名	公園緑地課		
指標	多くの市民が快適に利用できるための公園維持管理面積				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	150	目標値	150	単位	ha	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	150	達成率	100.00			予算額	178,001	44,945
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	169,913	44,945

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

公園・緑地の管理を推進していく必要がある。

事務事業名	公園許可事務				課名	公園緑地課		
指標	都市公園内の行為、占用、設置管理の申請件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	342	目標値	400	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	604	達成率	151.00			予算額	0	1,335
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	1,335

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

都市公園法に基づき適切な公園利用ができるように、引き続き業務を行う必要がある。

事務事業名	公園の整備				課名	公園緑地課		
指標	公園候補地の検討・公園施設整備の検討				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	4	目標値	4	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	4	達成率	100.00			予算額	23,823	1,602
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	21,727	1,602

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

市民のニーズに合った公園整備を行っていく

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
①施策が有効な手段となっている。 ②市民ニーズに適合している。 ③妥当である。 ④施策を推進している。 ⑤配置の均衡は行政の責任として実施する必要がある。 ⑥適切である。 ⑦適切である。	①～④本施策は、節の目標設定に効果的な手段であり、各事業は施策推進に有効である。 ⑤行政が主導する施策である。 ⑥⑦財源配分、人員配置は適切である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
樹林地や文化・歴史資源を活かしながら、公園を安全に適切に利用できるようにするための施策であり、目的達成に効果的な手段となっている。今後も公園等の適正な配置を検討していく必要がある。	①～④緑地・文化・歴史資源を活かしながら、市民が公園を安全に快適に利用できるようにすることを目的とした本施策は、部の運営方針、課の目標に沿っており、節の目的達成に効果的な施策である。また、実施した事業は、施策推進に有効であった。 ⑤行政が主導する施策である。 ⑥⑦節の目的を達成するためには、更なる取り組みが必要であり、財源配分、人員配置の強化が必要と考える。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	市民の自主的な活動への支援	施策コード	62102	施策主管部課	都市部 公園緑地課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	公園・緑地の整備・充実			関係課		
	(3) 節の目的	公園・緑地の適正な機能と配置に配慮し、より身近で親しみやすい空間として整備するとともに、維持管理のしくみを工夫します。					
	(4) 施策の目的・展開方向	より身近で親しみやすい公園とするため、地域住民の主体的な公園づくり活動を支援するとともに、公園管理における市民の自主的な活動を広げていきます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	地域住民				
どういう状態に		市民による公園づくりや自主的な管理が広がっている					
(6) 施策実施上の課題と対応	より多くの市民参加を得るため、参加機会を創出するとともに、参加へのきっかけとなる情報の提供方法を工夫する						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 市民手づくり公園の活動団体数	団体を増やすことが自主的な公園づくりの推進となる					
	② 市民手づくり公園の数	活動公園を増やすことが自主的な公園づくりの推進となる					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	団体	10	11	12	13
		実績値		10	10		
		達成率		100.00	90.91		
	②	目標値	箇所	12	13	14	15
		実績値		12	12		
		達成率		100.00	92.31		
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	2,252	2,195	2,195	2,195	
		人件費	3,480	2,225	3,560	3,560	
		合計	5,732	4,420	5,755	5,755	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	2,252	2,027			
		人件費	3,480	2,225			
合計		5,732	4,252				

施策を構成する事務事業

事務事業名					市民手づくり公園事業		課名	公園緑地課			
指標					既存活動団体の継続維持		政策・経常	□政策 ■経常 □なし			
現況値	100	目標値	100		単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)			
実績値	100	達成率	100.00				予算額	800	1,335		
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い		評価	結合	実績値	798	1,335

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

既存活動団体の高齢化への対応。

事務事業名					公園清掃（自治会委託）		課名	公園緑地課			
指標					多くの市民が快適に利用できるための公園清掃・管理箇所数		政策・経常	□政策 ■経常 □なし			
現況値	66	目標値	66		単位	箇所	事業費(千円)	正職員人件費(千円)			
実績値	63	達成率	95.45				予算額	1,395	890		
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い		評価	結合	実績値	1,229	890

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

地域の公園として愛着を持ってもらい、良好な環境を維持していくために今後も事業を推進していく必要がある。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
①目的達成に貢献している。 ②市民ニーズに適合している。 ③妥当である。 ④施策を推進している。 ⑤既に進めている。 ⑥適切である。 ⑦適切である。	①～④本施策は、節の目標達成に効果的な手段であり、各事業は施策推進に有効である。 ⑤協働で推進してる。 ⑥⑦財源配分、人員配置は適切である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
より身近で親しみやすい公園とするため、地域住民の主体的な公園づくり活動の支援、自治会の公園管理を広げていきます。	①～④部の運営方針、課の目標に沿った施策であり、節の目的達成に効果的な施策である。また、実施した事業は、施策推進に有効であった。 ⑤地域住民の主体的な公園づくりや、公園の管理を自治会に委託するなど、市民と協働で実施した。 ⑥⑦財源配分、人員配置ともに適正であった。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	下水道施設の整備と維持管理		施策コード	62201	施策主管部課 建設部 下水道課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	下水道整備の推進			関係課		
	(3) 節の目的	衛生的で快適な生活環境を保ち、河川や沼の水質を改善するため、下水道の整備をすすめるとともに、その普及に努めます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。また、老朽化に伴う改修や不明水によるマンホールからの汚水の噴出防止など、適切な維持管理を進めるとともに、計画的な改築に取り組めます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	市街化区域の下水道未整備区域				
どういう状態に		下水道整備が進んでいる。					
(6) 施策実施上の課題と対応	下水道に対する社会資本整備総合交付金が削減している中で、下水道整備費及び管渠の老朽化に伴う改築更新等の財源確保は非常に厳しくなるため、今後の下水道事業のあり方は、財政規模に適した形で対応する必要がある。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 下水道の整備率	整備率を指標とすることで施策目標を数値化できるため。					
	② 下水道の普及率	施策の進捗が数値化できるため。					
	③ 重要な管渠の地震対策実施率	地震対策実施率を指標とすることで施策目標を数値化できるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	80.5	80.9	81.4	81.9
		実績値		80.5	81		
		達成率		100.00	100.12		
	②	目標値	%	84.8	85.1	85.5	85.9
		実績値		84.6	84.7		
達成率		99.76		99.53			
③	目標値	%	38	43.1	46.7	51.8	
	実績値		38	43.1			
	達成率		100.00	100.00			
財源	年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	295,906	424,333	533,785	530,375	
		人件費	48,285	39,605	48,505	49,840	
		合 計	344,191	463,938	582,290	580,215	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	295,906	225,034			
		人件費	48,285	39,605			
合 計		344,191	264,639				

施策を構成する事務事業

事務事業名	社会資本総合整備計画の推進				課名	下水道課		
指標	公共下水道管渠布設延長（補助事業）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	0	目標値	1,469	単位	m	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	549	達成率	37.37			予算額	0	4,450
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	4,450

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

公共下水道整備に必要な事業であるため、事業の優先度は高い。

事務事業名	排水設備の審査及び竣工検査				課名	下水道課		
指標	排水設備新設等確認申請書審査件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	530	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	577	達成率	108.87			予算額	22,121	3,115
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	19,955	3,115

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、排水設備及び排水施設が基準とおりに施工されていることが必要不可欠なことから、今後も現状とおりに推進していく。

事務事業名	汚水中継ポンプ場維持管理				課名	下水道課		
指標	ポンプ施設の維持管理を適切に行い、トラブル等で稼働停止を未然に				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	244	単位	日	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	244	達成率	100.00			予算額	10,429	3,560
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	9,704	3,560

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、ポンプ施設の保守点検業務であり、今後も引き続き実施していく必要がある。

事務事業名	汚水管渠維持管理事業				課名	下水道課		
指標	下水道施設の市管理部分の苦情件数対応（苦情解決件数/苦情件数）				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	43,821	4,005
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	38,770	4,005

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、公共下水道施設の機能確保及び老朽化による災害を未然に防止するために必要不可欠な事業で、今後も現状とおりに実施していく。

事務事業名	総合地震対策事業（第Ⅲ期）				課名	下水道課		
指標	マンホール浮上防止工事、マンホールトイレ設置工事の進捗率（第Ⅲ）				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	60	目標値	60	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	60	達成率	100.00			予算額	49,100	2,670
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	43,414	2,670

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

下水道総合地震対策計画に基づき事業を進めており、優先度は高い。

事務事業名	湖北駅北口西側地区の整備				課名	下水道課		
指標	公共下水道管渠布設延長				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	172	目標値	172	単位	m	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	172	達成率	100.00			予算額	23,509	2,670
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	20,009	2,670

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

当該地区の下水道整備は、継続的に進めており、事業の優先度は高い。

事務事業名	下ヶ戸西側地区の整備				課名	下水道課		
指標	公共下水道管渠布設延長				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	318	目標値	318	単位	m	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	318	達成率	100.00			予算額	40,744	1,335
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	37,193	1,335

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

当該地区の下水道整備は、継続的に進めており、事業の優先度は高い。

事務事業名	青山地区の流域下水道への接続事業				課名	下水道課		
指標	圧送管閉塞工事の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	20	目標値	20	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	20	達成率	100.00			予算額	6,500	1,335
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	4,820	1,335

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

下水道管の破損が原因で交通障害等を引き起こさないよう圧送管、流入管の閉塞は必要のため、優先度の高い事業である。

施策を構成する事務事業

事務事業名	布佐駅東側地区の整備				課名	下水道課	
指標	舗装復旧工事の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	100	目標値	100	単位		事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	その他	予算額	4,845
						実績値	4,345

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

当該地区は、地元からの下水道整備の要望が強く、事業の優先度は高い。

事務事業名	湖北駅北口東側地区の整備				課名	下水道課	
指標	公共下水道管渠布設延長				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	63	目標値	63	単位	m	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	63	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	予算額	17,395
						実績値	15,895

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

当該地区の下水道整備は、継続的に進めており、事業の優先度は高い。

事務事業名	高野山地区の整備				課名	下水道課	
指標	現地調査の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	予算額	0
						実績値	0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

当該地区は、地元からの下水道整備の要望が強く、事業の優先度は高い。

事務事業名	下ヶ戸北側地区の整備				課名	下水道課	
指標	現地調査の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	予算額	0
						実績値	0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

当該地区は、地元からの下水道整備の要望が強く、事業の優先度は高い。

事務事業名	下水道ストックマネジメント事業				課名	下水道課	
指標	ストックマネジメント修繕・改築の進捗率（第Ⅰ期）				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	0	目標値	20	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	20	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	予算額	23,606
						実績値	19,483

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

老朽化施設の増大に伴う事故発生や機能停止を未然に防ぐため、事後保全型から予防保全型へ転換し、施設の重要度等を踏まえた効果的な施設の点検・調査や、劣化度を踏まえた計画的な修繕・改築等を行うため、ストックマネジメントの取組を引き続き推進して

事務事業名	久寺家污水中継ポンプ場の圧送管閉塞事業				課名	下水道課	
指標	現地調査の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	予算額	0
						実績値	0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

下水道管の破損が原因で交通障害等を引き起こさないよう圧送管、流入管の閉塞は必要のため、引き続き推進していく。

事務事業名	久寺家1・2丁目地区不明水対策事業（No5流域）				課名	下水道課	
指標	不明水対策事業（設計・補修）の進捗率（No5本管）				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	20	目標値	40	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	40	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	予算額	5,000
						実績値	3,993

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

当該地区は、不明水の浸入により下水道マンホールから溢水し、公衆衛生上及び維持管理上の問題となっており、現況を的確に把握し、効果的な対策を実施するうえで、必要不可欠な事業であるため、引き続き推進していく。

事務事業名	久寺家1・2丁目地区の整備				課名	下水道課	
指標	公共下水道管渠布設延長				政策・経常	■政策 □経常 □なし	
現況値	0	目標値	331	単位	m	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	0	達成率	0.00				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	予算額	147,740
						実績値	0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

当該地区の下水道整備は、継続的に進めていく必要があり、事業の優先度は高い。

施策を構成する事務事業

事務事業名					流域関連公共下水道不明水対策事業（第Ⅰ期）		課名	下水道課			
指標					不明水対策送煙調査業務委託の進捗率		政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし			
現況値	20	目標値	40		単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)			
実績値	40	達成率	100.00				予算額	4,000	2,225		
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い		評価	結合	実績値	3,630	2,225

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、管渠の誤接続による不明水の発生源を特定し、常時下水道の機能を維持するため必要なものであることから、現状どおり推進していく。

事務事業名					柏市共用管の建設事業		課名	下水道課			
指標					共用管工事の進捗率		政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし			
現況値	0	目標値	100		単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)			
実績値	100	達成率	100.00				予算額	13,523	445		
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い		評価	結合	実績値	3,823	445


事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

我孫子市と柏市の市境に位置する地区については柏市と連携しながら整備が必要な手賀沼流域関連公共下水道事業であり、地元住民からの要望により早期に整備する必要があるため、事業の優先度は高い。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)


施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長 ・下水道の整備は、国の社会資本整備総合交付金、市の財源手当の規模に見合った進捗を保持するものとする。 ・下水道施設の維持管理は、不明水対策を含めた下水道施設の老朽化対策が急務であり、ストックマネジメント計画に基づき、事後保全型から予防保全型へ転換していく必要がある。 ・地震対策は、下水道総合地震計画に基づき、マンホール浮上防止工事やマンホールトイレ設置工事を着実に進める必要がある。	施策主管部長 ・市の財政状況を考慮すると、今後の下水道整備率は緩やかな伸びとならざるを得ないが、快適な生活環境を確保するため、効率的な整備方針が求められる。また、不明水を含めた下水道施設の老朽化対策は重要な課題であり、限られた財源の中で効果的かつ効率的に維持管理を実施していく必要がある。 ・地震対策は、引続きマンホール浮上防止工事とマンホールトイレ設置工事を実施する必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
	




事後評価

施策主管課長 ・下水道の整備率は、引き続き緩やかな伸びとなるが、今後も計画的に下水道整備を進めていく必要がある。 ・下水道の維持管理については、ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設を計画的かつ効率的に維持管理していくとともに、不明水対策を実施していく必要がある。 ・地震対策は、「下水道総合地震計画」に基づき、緊急輸送路等に埋設された下水道の流下確保を目的としたマンホール浮上防止工事や、避難所に指定されている小学校にマンホールトイレを設置していく必要がある。	施策主管部長 ・市の厳しい財政状況の中、下水道整備率の大幅な伸びが望めないことから、限られた財源を有効活用し、今後も計画的に未普及地区の整備を実施していく必要がある。 ・既設下水道施設については、ストックマネジメント実施方針に基づき、下水道施設を計画的かつ効率的に維持管理していくとともに、不明水対策に伴う点検・調査を実施していく必要がある。 ・地震対策は、既存施設の耐震化と避難所に指定されている小学校にマンホールトイレの設置を着実に進める必要がある。
改善検討	<input type="radio"/> 要 <input checked="" type="radio"/> 不要
施策展開の改善点と展開方向	
	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	下水道事業の健全経営の確保	施策コード	62202	施策 主管部課	建設部 下水道課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	下水道整備の推進			関係課	
	(3) 節の目的	衛生的で快適な生活環境を保ち、河川や沼の水質を改善するため、下水道の整備をすすめるとともに、その普及に努めます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	下水道事業の健全経営を確保するため、未接続世帯への働きかけにより水洗化率を高めるとともに、下水道使用料や受益者負担金の未納者への督促を強化し、増収に努めます。また、地方公営企業法の適用に取り組みます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	下水道事業			
どういう状態に		健全に経営されている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	現在は、財政規模に適した形で下水道整備を実施しているが、今後は公営企業会計の適用を実施し、建設から維持への施策転換を図るとともに下水道使用料の徴収率向上を目指し、自主財源の確保を図る。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 水洗化率	供用開始区域について排水整備の早期設置を促し、下水道の利用率を上げ、下水道使用料の増額を図る。					
	② 下水道使用料の徴収率	下水道使用料徴収率の向上を図るため。					
	③ 受益者負担金の徴収率	下水道受益者負担金徴収率の向上を図るため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	98.9	98.9	98.9	98.9
		実績値		99	99.2		
		達成率		100.10	100.30		
	②	目標値	%	99.05	99.05	99.05	99.05
		実績値		99.1	99.1		
達成率		100.05		100.05			
③	目標値	%	97.53	97.53	97.53	97.53	
	実績値		98.8	98.7			
	達成率		101.30	101.20			

財源	年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	957,503	976,008	983,795	983,854
		人件費	68,295	60,965	54,735	54,735
		合 計	1,025,798	1,036,973	1,038,530	1,038,589
	(10) 実績値 (千円)	事業費	957,503	970,289		
		人件費	68,295	60,965		
合 計		1,025,798	1,031,254			

施策を構成する事務事業

事務事業名	水洗化の普及促進				課名	下水道課	
指標	利子補給件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	2	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	0	達成率	0.00				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	予算額	164
						実績値	105
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

本事業は、下水道の水洗化率を上げることにより、下水道使用料収入増加及び公衆衛生向上にもつながる事業となっているため、今後も推進していく。

事務事業名	下水道排水設備指定工事店申請業務				課名	下水道課	
指標	指定工事店の指定期間満了による更新(申請)と新規の申請。				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	0	目標値	22	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	27	達成率	122.73				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	予算額	1,276
						実績値	1,266
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

下水道排水設備工事を、法令に基づき適切に行うため、指定工事店に指定するための審査手続きは必要不可欠であることから今後も現状どおり推進していく。

事務事業名	健全経営を優先した下水道計画の確立				課名	下水道課	
指標	下水道処理人口普及率：我孫子市内でどれぐらいの割合の人が下水道				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	85	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	84.7	達成率	99.65				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	予算額	426
						実績値	375
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

今後も健全な下水道事業経営を維持できるよう、下水道計画を策定していく。

事務事業名	開発行為協議・区域外流入協議				課名	下水道課	
指標	開発行為事前協議回答と区域外流入許可の平均件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	0	目標値	5	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	7	達成率	71.43				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	予算額	0
						実績値	0
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

開発行為や区域外流入の審査等は、許可を伴う業務であり、下水道整備において重要であるため、今後も引き続き推進していく。

事務事業名	下水道事業受益者負担金の賦課徴収				課名	下水道課	
指標	下水道事業受益者負担金の過年度滞納繰越額及び現年度賦課額に対する				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	93.7	目標値	95	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	98.7	達成率	103.89				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	予算額	1,384
						実績値	1,359
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

受益者負担の必要性から、今後もこれまで通り事業を推進していく。

事務事業名	下水道使用料の賦課徴収業務				課名	下水道課	
指標	下水道使用料の過年度滞納繰越額及び及び現年度調定額に対する徴収				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	95.6	目標値	99	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	99.1	達成率	100.10				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	予算額	105,283
						実績値	104,134
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

法規に基づき着実に執行した。

事務事業名	予算・決算業務による経営分析				課名	下水道課	
指標	下水道事業の汚水処理費に対する使用料回収率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	86.2	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	82.5	達成率	95.71				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	予算額	473
						実績値	473
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

下水道事業の経営状況を良好に保つため、今後も現状どおり推進していく。

事務事業名	公共下水道事業供用開始				課名	下水道課	
指標	公示回数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	1	目標値	1	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	2	達成率	200.00				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	予算額	153
						実績値	153
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

法令どおり執行した。

施策を構成する事務事業

事務事業名						流域下水道建設負担金の調整協議		課名		下水道課	
指標						千葉県との建設負担金についての協議回数		政策・経常		□政策 ■経常 □なし	
現況値		0		目標値		1		単位		回	
実績値		1		達成率		100.00					
事務事業の施策への貢献度						○高い ●普通 ○低い		評価		結合	
予算額						34,285		実績値		34,284	
事業費(千円)						787,226		正職員人件費(千円)		1,780	
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)						千葉県と協議しながら手賀沼流域下水道の整備事業を進め、汚水が適切に処理され、衛生的で快適な生活環境を形成し、公共水域の水質を保全するため今後も引き続き推進していく。					
事務事業名						流域下水道維持管理負担金の調整協議		課名		下水道課	
指標						千葉県との維持管理負担金についての協議回数		政策・経常		□政策 ■経常 □なし	
現況値		0		目標値		1		単位		回	
実績値		1		達成率		100.00					
事務事業の施策への貢献度						○高い ●普通 ○低い		評価		現状	
予算額						787,226		実績値		787,226	
事業費(千円)						787,226		正職員人件費(千円)		1,780	
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)						本事業は市の汚水を処理するために必須の事業であり、今後も現状通り推進していく。					
事務事業名						消費税及び地方消費税の申告・納税		課名		下水道課	
指標						適正な納税をするための、確定申告を行う回数。		政策・経常		□政策 ■経常 □なし	
現況値		0		目標値		1		単位		回	
実績値		1		達成率		100.00					
事務事業の施策への貢献度						○高い ●普通 ○低い		評価		結合	
予算額						32,495		実績値		30,717	
事業費(千円)						787,226		正職員人件費(千円)		4,005	
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)						消費税及び地方消費税の正しい申告を行うため、今後も現状どおり推進していく。					
事務事業名						下水道事業経営戦略策定事業		課名		下水道課	
指標						下水道事業の経費回収率		政策・経常		■政策 □経常 □なし	
現況値		0		目標値		86.2		単位		%	
実績値		82.5		達成率		95.71					
事務事業の施策への貢献度						●高い ○普通 ○低い		評価		結合	
予算額						12,843		実績値		10,197	
事業費(千円)						12,843		正職員人件費(千円)		16,910	
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)						今後も定期的に経営戦略を見直し、適正な使用料に基づく健全な公営企業運営を継続していく。					

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
健全な下水道事業の経営を行っていくためには、経営戦略の改定と主要な財源となる下水道使用料の適正化を行い、以って効率的な事業の推進に職員が一丸となって取り組む必要がある。	衛生的で快適な生活環境を確保する上で、公共下水道事業は必要不可欠であり、都市計画事業の中でも重要な事業である。 このことから、公共下水道事業の健全経営のために使用料の見直しや水洗化の普及促進は特に重要である。 公共下水道事業は、地方公営企業として、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に、持続的に取り組む必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
下水道事業の経営は、人口減少が進む中、下水道未普及区域の整備や既存施設の老朽化に伴う改築更新など、継続して投資を行う必要があります。厳しい経営環境となることが懸念されています。 このため、令和3年度に見直した「経営戦略」に基づき、計画的かつ合理的な経営に取り組み、併せて取り組み状況を踏まえた定期的な検証・評価を行い、次の見直しに繋げることで、持続可能な下水道サービスの提供に資することとする。	現在、下水道事業をめぐる経営環境は厳しさを増しつつあり、社会状況の変化に適切に対応し、そのあり方について絶えず検討を行うことが求められている。こうした中で、引き続き安定的に事業を行うには、自らの経営等についての確に現状把握を行った上で、「経営戦略」に基づき、中長期的な視野に基づく計画的な経営に取り組み、徹底した効率化、経営健全化を行うことが必要である。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	安全な水の安定供給と環境負荷低減に向けた取り組み	施策コード	62301	施策主管部課	水道局 工務課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	上水道の安定供給			関係課	経営課 健康づくり支援課	
	(3) 節の目的	安全な水を安定して供給するため、災害時を含めた確実な水の確保や、効率的な水道経営に努めます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	安全な水を安定的に供給するため、水質管理の充実や高度処理施設の効率的な運用、水源の安定確保や施設の耐震化などの整備を進めます。また、災害時等における応急給水体制を強化するとともに、環境に配慮し、水道システムの効率化を進め、エネルギーの省力化を図ります。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	市民				
どういう状態に		安全な水が安定して供給されている					
(6) 施策実施上の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> 水道普及率の向上のため、未給水地区への配水管の新設を行う。 災害・事故対策の強化のため、浄水場及び管路の耐震化を進める。 有収率の向上のため、給水管の漏水調査を反映した修繕を行う。 						

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 水道普及率（給水人口/給水区域内人口）	水道普及率の向上により、安全な水の安定供給に努める。					
	② 有収率（有収水量/給水量）	有収率の向上により、水道経営の安定と水資源の節約に努める。					
	③ 管路耐震適合化率	管路の耐震化により、地震・災害に強い水道管路網を構築する。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値		93.8	93.9	94	94.1
		実績値	%	0	0		
		達成率		0.00	0.00		
	②	目標値		97.4	97.5	97.5	97.6
		実績値	%	0	0		
達成率			0.00	0.00			
③	目標値		44	45	46	47	
	実績値	%	0	0			
	達成率		0.00	0.00			

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費		1,729,188	976,439	738,339	934,824
		人件費		85,608	81,257	85,351	82,681
		合計		1,814,796	1,057,696	823,690	1,017,505
	(10) 実績値 (千円)	事業費		1,729,188	849,042		
		人件費		85,608	81,257		
合計			1,814,796	930,299			

施策を構成する事務事業

事務事業名	専用水道・簡易専用水道・小規模水道の管理等指導事業				課名	健康づくり支援課		
指標	基準を満たしている専用水道施設の割合				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	29	5,785
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	24	5,785

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状どおり推進

事務事業名	貯水槽水道の衛生管理指導				課名	経営課		
指標	貯水槽水道指導件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	10	目標値	10	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	4	達成率	40.00			予算額	0	623
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	623

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

引き続き実施する必要がある。

事務事業名	指定給水装置工事事業者の審査				課名	経営課		
指標	審査による指定率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	54	1,780
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	10	1,780

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

引き続き実施する必要がある。

事務事業名	給水装置工事監理				課名	経営課		
指標	審査指導後の工事承認率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	576	3,293
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	398	3,293

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

引き続き実施する必要がある。

事務事業名	量水器取替・修繕業務				課名	経営課		
指標	メータ交換実績				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	76,239	3,115
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	39,934	3,115

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

引き続き実施する必要がある。

事務事業名	直結・増圧給水の普及促進				課名	経営課		
指標	指導数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	10	目標値	10	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	4	達成率	40.00			予算額	0	890
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	890

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

引き続き実施する必要がある。

事務事業名	給水装置の維持管理				課名	経営課		
指標	給水装置維持点検・修繕数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	80	目標値	80	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	110	達成率	72.73			予算額	18,706	2,492
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	14,911	2,492

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

引き続き実施する必要がある。

事務事業名	応急給水体制の充実				課名	経営課		
指標	応急給水訓練を実施した自主防災組織等の数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	4	目標値	4	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	2	達成率	50.00			予算額	3,344	2,670
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	2,332	2,670

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

引き続き実施する必要がある。

施策を構成する事務事業

事務事業名 浄水場施設の更新業務					課名	工務課		
指標	設備機器更新工事の進捗率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	212,229	4,984
事務事業の施策への貢献度 ●高い ○普通 ○低い					評価	結合	実績値	
							176,362	4,984

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

水の安定供給には計画的な設備更新が必要なため、事業の優先度は高い

事務事業名 浄水場系包括委託業務					課名	工務課		
指標	浄水場における不具合修理件数/浄水場における不具合発見件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	164,125	4,984
事務事業の施策への貢献度 ●高い ○普通 ○低い					評価	結合	実績値	
							164,121	4,984

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

水の安定供給に欠かすことのできない事業であるため優先度は高い。

事務事業名 経年劣化水道管路の更新改良・耐震化					課名	工務課		
指標	経年劣化管路・更新布設替延長距離 (m)				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	5,473	目標値	3,605	単位	m	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	3,537	達成率	98.11			予算額	368,149	9,879
事務事業の施策への貢献度 ●高い ○普通 ○低い					評価	結合	実績値	
							342,997	9,879

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

水の安定供給には経年劣化管路の計画的な更新（布設替え）が必要であることから、事業の優先度は高く現状どおり推進していく。

事務事業名 水質管理業務					課名	工務課		
指標	水質基準適合率				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	6,552	4,094
事務事業の施策への貢献度 ●高い ○普通 ○低い					評価	結合	実績値	
							6,225	4,094

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

水質検査は水道法により義務付けられているため事業の優先度は高い。

事務事業名 配水管路自己施行工事の指導・検査					課名	工務課		
指標	適正に審査・指導・検査を実施した件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	15	目標値	15	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	13	達成率	86.67			予算額	683	4,094
事務事業の施策への貢献度 ●高い ○普通 ○低い					評価	結合	実績値	
							683	4,094

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

自己施行工事は景気状況や民間事業者の投資判断により施行量が左右されるが、当事業の優先度は水道の安定供給を実現するためには変わらずに高いものである。

事務事業名 配水管路の新設・拡張整備					課名	工務課		
指標	配水管新設延長距離 (m)				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	500	目標値	435	単位	m	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	391	達成率	89.89			予算額	34,920	6,764
事務事業の施策への貢献度 ●高い ○普通 ○低い					評価	結合	実績値	
							31,955	6,764

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

配水管新設・拡張整備により未普及地区の解消を図るため、事業の優先度は高く現状どおり推進していく。

事務事業名 水道管路施設維持修繕					課名	工務課		
指標	維持修繕工事件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	50	目標値	50	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	28	達成率	178.57			予算額	18,456	3,204
事務事業の施策への貢献度 ●高い ○普通 ○低い					評価	結合	実績値	
							5,868	3,204

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

水の安定供給には適切な施設管理や突発的な事故（漏水・濁水）対応が必要であることから事業の優先度は高く、現状どおり維持していく。

事務事業名 管路情報管理システム運用					課名	工務課		
指標	データ更新距離 (m)				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	5,973	目標値	4,040	単位	m	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	3,928	達成率	97.23			予算額	6,083	2,759
事務事業の施策への貢献度 ●高い ○普通 ○低い					評価	結合	実績値	
							5,885	2,759

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

システムを維持し適切な情報提供を継続することは、水道の安定供給に繋がるため、事業の優先度は高い。

施策を構成する事務事業

事務事業名	浄水場施設の維持管理業務				課名	工務課		
指標	浄水場無事故割合（（浄水場数－浄水場停止事故件数）／浄水場数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	51,334	4,984
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	43,345	4,984

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

安全な水を安定的に供給していくために、施設の保守・修繕等の維持管理は必要不可欠であるため事業の優先度は高い

事務事業名	基幹水道管路の更新改良・耐震化				課名	工務課		
指標	基幹管路更新実施設計延長距離（m）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	6,720	目標値	960	単位	m	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	961	達成率	100.10			予算額	9,020	8,544
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	8,272	8,544

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

水の安定供給には基幹管路の計画的な更新(布設替え)が必要であることから、事業の優先度は高く現状どおり推進していく。

事務事業名	適正な取受配水管理				課名	工務課		
指標	水源余裕率（（確保している水源水量／一日最大配水量）－1）×1				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	35	目標値	35	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	35	達成率	100.00			予算額	5,940	5,874
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	5,720	5,874

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

適正な取水・受水・配水管理は、水の安定供給に欠かせないことから事業の優先度は高い。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
①貢献している。 ②適合している。 ③妥当である。 ④実施している。 ⑤公共事業(インフラ)の特異性から協働は考えられない。 ⑥適切である。 ⑦適切である。 適切な施設の維持管理や更新等、我孫子市水道事業基本計画に基づき計画的に事業を進めていく。	①～④適切である。 ⑤公共インフラの性質上、協働は難しい。 ⑥～⑦適切である。 各事業は我孫子市水道事業ビジョンや我孫子市水道事業基本計画の内容と整合している。老朽化が進んでいる浄水場及び管路施設の早期更新(耐震化)を実現するため、各事業を着実に進め、計画的かつ効率的な施策となるよう努めていく必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
①から④、⑥、⑦施策の目標に沿った事業を概ね推進できた。	施策目標に沿って事業が執行され、目標達成に貢献した。
改善検討	
○要 ●不要	
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	経営基盤の強化と利用者サービスの充実	施策コード	62302	施策主管部課	水道局 経営課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	上水道の安定供給			関係課	
	(3) 節の目的	安全な水を安定して供給するため、災害時を含めた確実な水の確保や、効率的な水道経営に努めます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	水道経営の健全化のため、包括業務委託の着実な推進による官民連携効果で、サービスの維持向上と事業運営の効率化による諸経費の縮減化を進め、一層の経営基盤強化と利用者サービスの充実に努めます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	水道局の経営基盤			
どういう状態に		強化されている				
(6) 施策実施上の課題と対応	利用者サービスの向上を目指すためには、料金・給水・会計業務の包括委託において、民間ノウハウの活用しつつ、官民連携の効果を一層引出すことが必要である。その際、職員には、受託事業者に適切な指導・助言を行うことができる業務スキルが求められるため、職員の人材育成にも体系的に取り組み、過去の経験や知識を継承していくとともに、全国の先進事例をもとに新しい技術や事業運営手法を習得できるようにしていく。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 総収支比率（総収益／総費用）	総収支比率を指標とすることで、経営の健全性を把握することができる。					
	② 水道料金の収納率（収納金額／確定調定額）	水道料金の収納率向上が、経営基盤の強化と利用者サービスにつながる。 ※数値は各年度末現在の収納率を示す。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	111	111	116	116
		実績値		115	117		
		達成率		103.60	105.41		
	②	目標値	%	99.95	99.95	99.95	99.95
		実績値		95.91	99.93		
		達成率		95.96	99.98		
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	254,138	262,073	262,478	262,073
		人件費	66,729	67,640	68,263	68,263
		合計	320,867	329,713	330,741	330,336
	(10) 実績値 (千円)	事業費	254,138	242,761		
		人件費	66,729	67,640		
合計		320,867	310,401			

施策を構成する事務事業

事務事業名	契約事務				課名	経営課		
指標	公募型一般競争入札契約率（公募型一般競争入札契約件数／全契約数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	26.67	目標値	30	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	36	達成率	120.00			予算額	1,161	4,183
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	923	4,183

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

引き続き実施する必要がある。

事務事業名	出納管理				課名	経営課		
指標	不備伝票処理件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	55	目標値	55	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	50	達成率	110.00			予算額	66	3,026
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	66	3,026

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

引き続き実施する必要がある。

事務事業名	広報活動推進				課名	経営課		
指標	広報「あびこの水道」発行部数（1回あたり）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	45,500	目標値	45,500	単位	部	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	45,500	達成率	100.00			予算額	3,334	2,848
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	3,018	2,848

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

引き続き実施する必要がある。

事務事業名	料金の調定・徴収・収納				課名	経営課		
指標	収納率（現年度末時点）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	95.8	目標値	96	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	96	達成率	100.00			予算額	25,276	5,073
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	23,222	5,073

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

引き続き実施する必要がある。

事務事業名	水道事業計画の進行管理				課名	経営課		
指標	当該年度執行事業件数／当該年度計画事業件数×100				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	86	7,120
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	41	7,120

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

引き続き実施する必要がある。

事務事業名	庁舎維持管理				課名	経営課		
指標	実施件数／管理保守の予定件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	25,598	3,471
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	24,821	3,471

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

引き続き実施する必要がある。

事務事業名	組織・人事管理				課名	経営課		
指標	労働生産性＝（営業収益－受託工事収益）／損益勘定所属職員数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	128,157	目標値	124,577	単位	千円	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	127,283	達成率	102.17			予算額	1,089	6,052
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	850	6,052

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

引き続き実施する必要がある。

事務事業名	資金管理				課名	経営課		
指標	流動資産回転率： 営業収益－受託工事収益／（期首流動資産＋期				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	0.57	目標値	0.57	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0.55	達成率	96.49			予算額	36	3,115
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	3,115

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

引き続き実施する必要がある。

施策を構成する事務事業

事務事業名 貯蔵品管理					課名	経営課			
指標	貯蔵品(たな卸資産) 回転率=営業収益-受託工事収益/(期首たな卸)			政策・経常	□政策 □経常 ■なし				
現況値	129.38	目標値	134.14	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	130.19	達成率	97.06			予算額	28,877	2,403	
事務事業の施策への貢献度					評価	結合	実績値	15,107	2,403

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

引き続き実施する必要がある。

事務事業名 職員研修の推進					課名	経営課			
指標	実施した研修等の数			政策・経常	□政策 □経常 ■なし				
現況値	18	目標値	18	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	21	達成率	116.67			予算額	1,046	1,958	
事務事業の施策への貢献度					評価	結合	実績値	256	1,958

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

引き続き実施する必要がある。

事務事業名 料金・給水・会計業務等包括委託					課名	経営課			
指標	評価基準による得点			政策・経常	□政策 □経常 ■なし				
現況値	448	目標値	480	単位	点	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	444	達成率	92.50			予算額	170,280	6,586	
事務事業の施策への貢献度					評価	結合	実績値	170,280	6,586

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

引き続き実施する必要がある。

事務事業名 法務事務					課名	経営課			
指標	制定及び改廃実施件数/制定及び改廃予定数			政策・経常	□政策 □経常 ■なし				
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	100	達成率	100.00			予算額	110	2,225	
事務事業の施策への貢献度					評価	結合	実績値	0	2,225

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

引き続き実施する必要がある。

事務事業名 公用車管理					課名	経営課			
指標	点検・車検実施数/点検・車検予定数			政策・経常	□政策 □経常 ■なし				
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	100	達成率	100.00			予算額	2,316	979	
事務事業の施策への貢献度					評価	結合	実績値	1,574	979

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

引き続き実施する必要がある。

事務事業名 財産管理					課名	経営課			
指標	財産の目的外使用に係る審査件数/申請件数			政策・経常	□政策 □経常 ■なし				
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	100	達成率	100.00			予算額	492	2,314	
事務事業の施策への貢献度					評価	結合	実績値	490	2,314

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

引き続き実施する必要がある。

事務事業名 予算編成					課名	経営課			
指標	査定率= 予算の査定額/予算要求額			政策・経常	□政策 □経常 ■なし				
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	6,052	
事務事業の施策への貢献度					評価	結合	実績値	0	6,052

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

引き続き実施する必要がある。

事務事業名 決算調製					課名	経営課			
指標	経営資本営業利益率=(営業利益/経営資本) × 100			政策・経常	□政策 □経常 ■なし				
現況値	△0.93	目標値	0	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	△0.81	達成率	0			予算額	0	5,785	
事務事業の施策への貢献度					評価	結合	実績値	0	5,785

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

引き続き実施する必要がある。

施策を構成する事務事業

事務事業名	滞納整理及び給水停止処分				課名	経営課		
指標	収納率の向上				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	99.94	目標値	99.95	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	99.93	達成率	99.98			予算額	2,306	4,450
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	2,113	4,450
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)								
引き続き実施する必要がある。								

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
①目的達成に効果的な施策である。 ②我孫子市水道事業ビジョンや我孫子市水道事業基本計画に則っており、水道事業を取り巻く情勢の変化にも適合している。 ③妥当である ④我孫子市水道事業ビジョンや我孫子市水道事業基本計画に整合し、適切かつ有効である。 ⑤水道事業審議会や応急給水訓練に市民が参画している。 ⑥財源配分は適切である。 ⑦適切な人員配置である。	①～④適切である。 ⑤事業の一部に市民が参画している。 ⑥～⑦適切である。 各事業は我孫子市水道事業ビジョンや我孫子市水道事業基本計画、我孫子市水道事業経営戦略の内容と整合している。将来にわたって安定した水道事業を継続するため、各事業を着実に進め、水道の経営基盤の強化と利用者サービスの充実を図る必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
①目的達成に効果的な施策であった。 ②昨年度に続きコロナ禍の影響を受けながらも水道事業基本計画に沿った水道事業運営が行われた。 ③妥当であった ④我孫子市水道事業ビジョンや我孫子市水道事業基本計画に整合し、適切かつ有効であった。 ⑤水道事業審議会や応急給水訓練に市民が参画した。 ⑥財源配分は適切であった。 ⑦今後社会情勢の変化に伴う業務の多様化や大規模災害への対応を考慮すると今後は組織体制の強化が必要と考えられる。	①～④適切であった。 ⑤コロナ禍で制限はあったが、水道事業運営審議会などに市民の参画をいただいた。 ⑥適切である。 ⑦次世代の職員の育成などを見据え、人員体制を強化する必要がある。
改善検討	●要 ○不要
施策展開の改善点と展開方向	
我孫子市水道事業ビジョンや我孫子市水道事業基本計画等に沿った事業を推進できているが、将来にわたって安定的に水道水の供給を行うためには、次世代の職員の育成や大規模災害への備え(水道施設の強靱化など)が必要であり、経営基盤の強化と組織体制の強化を図る必要がある。	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	計画的な雨水排水施設等の整備と維持管理	施策コード	62401	施策主管部課	建設部 治水課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	都市排水施設の整備・充実			関係課		
	(3) 節の目的	市街地での浸水被害を防ぐため、計画的に雨水排水施設の整備・改修をすすめるとともに、雨水流出抑制施設の整備促進を図ります。					
	(4) 施策の目的・展開方向	市街地での浸水被害を軽減するため、計画的に幹線排水路、ポンプ場などの雨水排水施設や、調整池などの雨水流出抑制施設の整備・改修を進めるとともに、施設の適切な維持管理を行います。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	常襲的な浸水被害発生地区				
どういう状態に		浸水被害が軽減されている。					
(6) 施策実施上の課題と対応	常襲的に浸水被害が発生している地区があり、計画的な排水施設の整備が求められている。浸水対策事業には多大な事業費を要することから、実施にあたっては、社会資本整備総合交付金事業として推進していく必要がある。						

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 都市浸水対策達成率（整備完了面積／認可区域面	都市浸水対策達成率を指標とすることで、事業進捗状況を的確に把握することができる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	67	68	69	69
		実績値		67	68		
		達成率		100.00	100.00		
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	805,596	1,260,505	1,148,619	851,969
		人件費	80,997	79,833	67,017	67,017
		合 計	886,593	1,340,338	1,215,636	918,986
	(10) 実績値 (千円)	事業費	805,596	832,481		
		人件費	80,997	79,833		
合 計		886,593	912,314			

施策を構成する事務事業

事務事業名 布佐排水区の整備					課名	治水課	
指標	雨水管整備工事の進捗率（施工済延長／施工予定延長(約1900m)）				政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし	
現況値	6	目標値	10	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	10	達成率	100.00			予算額	326,492
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	結合
					実績値	164,173	8,277

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

布佐地区の浸水被害を軽減するためには、雨水幹線の整備が不可欠であるため、今後も現状どおり推進する必要がある。

事務事業名 根戸排水区の整備					課名	治水課	
指標	暫定調整池の維持管理				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし	
現況値	0	目標値	1	単位	箇所	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	1	達成率	100.00			予算額	418
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	結合
					実績値	418	267

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

根戸地区の浸水被害を軽減するためには、調整池機能を維持する必要がある、事業の優先度は高い。なお、暫定調整池として借地していた土地を令和元年度に取得したが、今後、暫定調整池のあり方について検討が必要である。

事務事業名 若松第1～第5排水区の整備					課名	治水課	
指標	雨水管布設工事の進捗率（施工済延長／施工予定延長1390m）				政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし	
現況値	75	目標値	85	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	81	達成率	95.29			予算額	393,232
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	結合
					実績値	192,726	10,057

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

若松地区の浸水被害を軽減するためには、パイプ管の整備が必要であり、優先度は高い。

事務事業名 市内ポンプ施設の点検					課名	治水課	
指標	ポンプ施設（22箇所）点検回数。				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし	
現況値	0	目標値	192	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	192	達成率	100.00			予算額	18,962
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	結合
					実績値	17,429	4,361

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

ポンプ施設の不具合は、円滑な内水排除ができなくなることから、ポンプ施設の適正な維持管理が必要不可欠であり、事業の優先度は高い。

事務事業名 排水施設堆積物撤去業務					課名	治水課	
指標	調整池、排水路、管渠等の堆積物撤去工事箇所数				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし	
現況値	0	目標値	20	単位	箇所	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	19	達成率	105.26			予算額	20,000
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	結合
					実績値	19,391	3,916

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

排水施設の機能を維持するためには、定期的な堆積物撤去工事が必要不可欠であり、事業の優先度は高い。

事務事業名 排水施設の草刈業務					課名	治水課	
指標	草刈面積				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし	
現況値	0	目標値	16.4	単位	ha	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	16.2	達成率	98.78			予算額	50,860
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	結合
					実績値	50,237	3,026

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

排水施設の周辺環境を良好な状態に維持管理するためには、草刈業務が必要であるため、事業の優先度は高い。

事務事業名 法定外公共物(水路)の管理					課名	治水課	
指標	占用料の徴収率				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし	
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	結合
					実績値	0	4,005

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

法定外公共物（水路）の機能を維持するためには、適正に管理する必要がある、事業の優先度は高い。

事務事業名 管理用地境界の確定業務					課名	治水課	
指標	境界確定率（境界確定件数／申請件数）				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし	
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	100
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い	評価	結合
					実績値	0	2,225

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

公共用地を適正に管理するためには、境界確定業務は必要不可欠であり、事業の優先度は高い。

施策を構成する事務事業

事務事業名	排水施設維持補修工事				課名	治水課		
指標	維持補修工事の箇所数。				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	35	単位	箇所	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	35	達成率	100.00			予算額	39,500	8,099
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	38,245	8,099

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

排水施設の機能を適正に維持するためには、排水施設の不具合箇所の維持補修工事が必要であることから、事業の優先度は高い。

事務事業名	金谷排水機場ポンプの点検				課名	治水課		
指標	排水機場のポンプ施設点検の進捗率。				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	50	達成率	50.00			予算額	26,869	7,209
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	7,591	7,209

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

金谷排水機場の機能を維持するためには、定期的な点検及び長寿命化計画に伴う実施設計を行うことが必要であることから、事業の優先度は高い。

事務事業名	緊急浸水対策事業				課名	治水課		
指標	緊急浸水対策箇所数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	5	目標値	5	単位	箇所	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	5	達成率	100.00			予算額	18,700	4,539
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	12,689	4,539

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

抜本的な浸水対策には長期の期間を要することから、短期的な対策として排水施設を整備することで浸水被害を軽減するのに有効であることから、今後も現状どおり推進する必要がある。

事務事業名	天王台地区の整備(天王台6丁目地区浸水対策事業)				課名	治水課		
指標	工事完了後の家屋補償業務の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	13,656	0
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	その他	実績値	11,045	0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

天王台6丁目地区の浸水対策工事については、家屋事後調査等を実施し、事業が完了となる。

事務事業名	柴崎排水区の整備（柴崎幹線整備事業）				課名	治水課		
指標	雨水幹線整備工事の進捗率（施工済延長／施工予定延長(約1180m)）				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	10	目標値	15	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	15	達成率	100.00			予算額	346,722	11,392
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	318,042	11,392

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

柴崎地区・天王台地区の浸水被害を軽減するためには、柴崎雨水幹線の整備が必要である。

事務事業名	雨水排水施設台帳の整備				課名	治水課		
指標	雨水排水施設台帳の作成の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	4,587	7,743
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	495	7,743

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状通り推進。

事務事業名	下水道ストックマネジメント事業（雨水）				課名	治水課		
指標	修繕・改築計画の各年度の実施内容達成率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	407	4,717
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	4,717

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状どおり推進。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
常襲的な浸水被害地区の幹線排水路等の雨水排水施設の整備や、既存の雨水排水施設・調整池等の雨水排水抑制施設を計画的に修繕・改築を進めていく。施設の適切な維持管理を行うことが浸水被害の軽減につながる。	課長の評価を妥当と考える。本施策は、重点プロジェクトに位置付けられており、部の運営方針と直結する有効な施策と判断する。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
常襲的な浸水被害地区の浸水被害軽減に向けて、各地区で進める幹線排水路等の整備について多少の遅れは生じたが着実に進めることができた。また、既存の排水施設や調整池等について施設の適切な維持管理を行うことで、雨水の適正な流下または雨水抑制ができ、浸水被害の軽減につながることから、施設の適切な維持管理を実施できた。	本施策は、重点プロジェクトに位置付けられており、部の運営方針と直結する有効な施策であり、課長の評価は妥当と考える。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	雨水貯留タンク・浸透施設の普及促進	施策コード	62402	施策主管部課	建設部 治水課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	都市排水施設の整備・充実			関係課	
	(3) 節の目的	市街地での浸水被害を防ぐため、計画的に雨水排水施設の整備・改修をすすめるとともに、雨水流出抑制施設の整備促進を図ります。				
	(4) 施策の目的・展開方向	市街地での浸水被害の軽減を図るため、住宅などの敷地内における雨水貯留タンクの設置を支援するとともに、浸透ますや浸透トレンチなどの雨水浸透施設の普及促進を図ります。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市街地			
どういう状態に		浸水被害が緩和されている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	雨水浸透施設の設置推進や雨水貯留タンクの設置は、市街地における浸水被害軽減のソフト対策として寄与することから、広報等によるPR活動を実施し、普及促進を図る必要がある。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 雨水貯留タンク設置補助累計基数	雨水貯留タンク設置補助累計基数を指標とすることで、雨水抑制の普及を把握することができる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	基	610	626	642	658
		実績値		622	629		
		達成率		101.97	100.48		
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	500	400	400	400
		人件費	7,656	8,366	7,832	7,832
		合計	8,156	8,766	8,232	8,232
	(10) 実績値 (千円)	事業費	500	204		
		人件費	7,656	8,366		
合計		8,156	8,570			

施策を構成する事務事業

事務事業名					課名		治水課		
開発等への雨水流出抑制指導					政策・経常		□政策 □経常 ■なし		
指 標					排水放流申請の回答率。				
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)		正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	3,827	
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い		評価	結合	実績値
							0	3,827	
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
「我孫子市開発等に伴う排水計画技術基準(雨水編)」に従い雨水流出抑制の指導を実施することで、開発等による雨水流出量の増加が抑えられるだけでなく、排水路等への負担軽減や浸水被害の軽減が図られることから、事業の優先度は高い。									
事務事業名					課名		治水課		
雨水貯留タンクの設置補助					政策・経常		□政策 ■経常 □なし		
指 標					雨水貯留タンクの累積設置基数				
現況値	622	目標値	635	単位	基	事業費(千円)		正職員人件費(千円)	
実績値	629	達成率	99.06			予算額	400	2,314	
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い		評価	結合	実績値
							204	2,314	
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
雨水貯留タンクの設置に対して補助金を支給することで、雨水流出抑制効果のある雨水貯留タンクの設置・普及が進むだけでなく、浸水被害の軽減や雨水の再利用に対する市民の意識向上が図られることから、事業の優先度は高い。									
事務事業名					課名		治水課		
雨水浸透施設の普及促進					政策・経常		□政策 □経常 ■なし		
指 標					雨水浸透施設設置届出件数/建築物の新築件数。				
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)		正職員人件費(千円)	
実績値	48.57	達成率	48.57			予算額	0	2,225	
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い		評価	結合	実績値
							0	2,225	
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)									
雨水浸透施設の普及を促進することで、各戸からの雨水流出量が低減し、浸水被害の軽減を図ることができることから、事業の優先度は高い。									

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
住宅地などの敷地内に浸透ますや浸透トレンチなどの雨水浸透施設を設置推進するとともに、雨水貯留タンクの設置を支援することで、浸水対策のソフト対策として寄与でき、市街地での浸水被害の軽減を図ることができる。	課長の評価を妥当と考える。雨水浸透施設の設置推進や雨水貯留タンクの設置の支援を行うことが浸水対策のソフト対策として寄与できることは、部の運営方針と直結する有効な施策と判断する。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
建築時における住宅の敷地内に浸透ますや浸透トレンチなどの雨水抑制施設の設置や雨水貯留タンク設置支援を推進することが下流域における浸水被害軽減につながる。指導等に苦慮することもあるが、理解を得ながら施策の推進を図ることができた。	部の運営方針と直結する有効な施策と判断し、課長の評価を妥当と考える。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	幹線道路網の見直し	施策コード	63101	施策主管部課	都市部 都市計画課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	幹線道路網の整備			関係課	
	(3) 節の目的	幹線道路を住環境や安全に配慮しながら計画的に整備し、広域的なつながりや地区間の連絡を円滑にします。				
	(4) 施策の目的・展開方向	将来交通需要の変化に対応しながら、市内における円滑で効率的な幹線道路網を形成していくため、国や県が進める広域的な幹線道路の計画や整備に合わせて、幹線道路網の見直しを行います。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	幹線道路網			
どういう状態に		市を取り巻く広域交通網や将来交通需要の変化に対応している				
(6) 施策実施上の課題と対応	幹線道路の老朽化に伴う改修・整備を計画的に進めると共に、国が計画する新たな広域幹線道路の内容によっては市内全域の交通体系の変化も予想される。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 幹線道路網の見直し進捗率	平成24年度の長期未整備都市計画道路費用対効果検討結果に基づき、市内における交通状況や道路整備状況などを見極めながら、必要な見直しを行う必要があるため、直接指標として進捗率を選					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	75	100	100	100
		実績値		0	0		
		達成率		0.00	0.00		
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	0	0	0	0
		人件費	3,045	445	2,670	2,670
		合計	3,045	445	2,670	2,670
	(10) 実績値 (千円)	事業費	0	0		
		人件費	3,045	445		
合計		3,045	445			

施策を構成する事務事業

事務事業名	幹線道路網に関する調査・検討				課名	都市計画課	
指標	千葉県等関係機関との協議、調整の回数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	2	目標値	2	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	2	達成率	100.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	0 445

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本市の幹線道路網の計画に必要なため、貢献度は高い。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
都市計画等に基づく幹線道路網の整備は、まちづくりにとって重要である。しかし、社会状況や環境の変化に適切に対応し、市内における円滑で快適な交通網を構築していくため、長期未整備の都市計画道路や概成区間の都市計画道路については、費用対効果や必要性、国が計画する新たな幹線道路計画の動向など見極めたうえで、必要な見直しを行っていく必要がある。	社会状況や環境の変化に適切に対応し、市内における円滑で快適な交通網を構築していくため、必要な施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
将来交通需要の変化に適切に対応しながら、市内における円滑で効率的な幹線道路網を形成していくため、平成24年度に実施した都市計画道路網の交通需要予測や未整備路線を整備した場合の費用対効果の検討結果を踏まえ、国が進めている千葉北西連絡道路の検討の進捗にあわせて、市の都市計画道路網の見直しを進める必要がある。	①～④ 部の運営方針、課の目標に沿った施策であり、節の目的達成に効果的な施策である。 ⑤ 市民との協働には該当しなかった。 ⑥⑦ 節の目的を達成するためには、引き続き取り組みを進めていく必要がある。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	幹線道路の整備・改良		施策コード	63102	施策主管部課	建設部 道路課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	幹線道路網の整備			関係課		
	(3) 節の目的	幹線道路を住環境や安全に配慮しながら計画的に整備し、広域的なつながりや地区間の連絡を円滑にします。					
	(4) 施策の目的・展開方向	中心拠点活性化の観点から、現在整備を進めている都市計画道路3・4・14号手賀沼公園・久寺家線の整備を完了させるとともに、3・5・15号根戸新田・布佐下線の整備に合わせて、3・4・9号下ヶ戸・中里線と3・4・10号青山・日秀線の整備を進めます。また、事故多発箇所や渋滞箇所については、安全施設の充実や交差点の改良、各道路管理者への改善要望など適切な対策を講じます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	幹線道路				
どういう状態に		円滑で快適な交通流動が確保されている。					
(6) 施策実施上の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路事業用地取得においては、権利者の理解と協力が得られるように、十分な事業説明と根気強い交渉が必要である。 ・街路整備により沿道環境が変化することについて、説明会等を実施して十分に周知する必要がある。 						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 都市計画道路の整備率（手賀沼・公園久寺家線の	都市計画道路の整備率を指標とすることで、幹線道路での交通流動性が確保されているかどうか把握できる。					
	② 都市計画道路の整備率（下ヶ戸・中里線外1線の	都市計画道路の整備率を指標とすることで、幹線道路での交通流動性が確保されているかどうか把握できる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	88	95	100	100
		実績値		88	95		
		達成率		100.00	100.00		
	②	目標値	%	9	50	80	100
		実績値		0	0		
		達成率		0.00	0.00		
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	0	62,827	814,665	163,709	
		人件費	0	18,245	8,455	8,455	
		合 計	0	81,072	823,120	172,164	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	0	52,461			
		人件費	0	18,245			
合 計		0	70,706				

施策を構成する事務事業

事務事業名	手賀沼公園・久寺家線の整備				課名	道路課		
指標	整備進捗率（工事進捗率）				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	95	目標値	95	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	95	達成率	100.00			予算額	59,627	9,790
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	49,261	9,790

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

都市計画で定めた主要な幹線道路であるため、令和4年度の供用開始に向けて引き続き推進していく。

事務事業名	下ヶ戸・中里線外1線の整備				課名	道路課		
指標	事業用地取得				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	0	目標値	5	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	3,200	8,455
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	3,200	8,455

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

円滑で快適な交通流の確保という施策の実現に必要な事業であるため、引き続き推進していく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
市内幹線道路間のアクセス向上、交通混雑の緩和及び交通円滑化への対策として重要な施策であり、道路を利用する歩行者の安全確保からも必要不可欠な施策である。	幹線道路の整備は、円滑で快適な交通流動を確保するうえで重要な施策であり推進する必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
・3・4・14号手賀沼公園・久寺家線の認可については、令和4年4月の供用開始を目指し、整備工事を進めた。 ・市内幹線道路間のアクセス向上、交通混雑の緩和及び交通円滑化への対策として重要な施策であり、道路を利用する歩行者の安全確保からも必要不可欠であることから、引き続き事業を推進する。	幹線道路の整備は、円滑で快適な交通流動を確保する上で重要な施策であるため、継続した整備が必要である。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	計画的な生活道路の整備	施策コード	63201	施策主管部課	建設部 道路課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	生活道路の整備			関係課	建築住宅課
	(3) 節の目的	日常の暮らしを支える重要な施設である生活道路は、道路の安全性を高めるとともに、維持管理を充実します。また、道路空間のデザインや緑化に配慮し、魅力ある快適な道路整備をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	安全で快適に通行できるように、狭あい道路の拡幅や踏切の改良など、市民の生活に密接にかかわる生活道路の計画的な整備を進めます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	生活道路			
どういう状態に		安全で快適に通行できるように整備されている				
(6) 施策実施上の課題と対応	狭隘道路の拡幅や待避所設置など用地確保が伴うため、地権者の事業理解が必要である。限られた財源の中での事業であるため、市民ニーズを把握し、これを反映させる。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 下新木踏切道の歩道整備延長（210m）	道路整備状況が把握できる。					
	② 市道24-003号線等(妻子原地先)の改良整備延長	道路整備状況が把握できる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	50	100	100	100
		実績値		47	47		
		達成率		94.00	47.00		
	②	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		0	20		
		達成率		0.00	20.00		
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(9) 予算 (千円)	事業費	41,857	80,717	115,235	159,261
	人件費	37,845	48,238	47,882	47,882
	合計	79,702	128,955	163,117	207,143
(10) 実績値 (千円)	事業費	41,857	55,342		
	人件費	37,845	48,238		
	合計	79,702	103,580		

施策を構成する事務事業

事務事業名	市道の認定、廃止及び用途廃止				課名	道路課		
指標	告示路線件数／認定等路線件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	2,492
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	2,492

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

道路管理者である市が実施することで、一般交通の利便性の向上が図れる。

事務事業名	市道24-003号線等（妻子原地先）の改良				課名	道路課		
指標	電柱移設の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	20	目標値	20	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	20	達成率	100.00			予算額	13,755	1,335
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	1,335

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

当該道路の有効幅員が狭く、安全で円滑な通行を確保するために有効幅員を広くすることは、有効な手段と考える。

事務事業名	開発行為の指導・道路用地の寄付帰属				課名	道路課		
指標	処理件数／申請件数×100				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	423	4,895
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	423	4,895

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状通り進める。

事務事業名	道路に関する相談への対応				課名	道路課		
指標	相談処理率（相談件数／解決件数）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	3,796	12,193
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	3,072	12,193

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民からの相談及び要望には適切に対応し解決することで、利便性の向上をおこない安心安全な通行を確保する。

事務事業名	下新木踏切道の改良				課名	道路課		
指標	契約権利者数				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	0	目標値	2	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	334	11,125
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	334	11,125

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

道路交通及び通学路の安全性の確保のために重要な事業であることから、引き続き推進していく。

事務事業名	高野山新田交差点改良				課名	道路課		
指標	交差点検討の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	10	目標値	20	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	10	達成率	50.00			予算額	0	1,068
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	1,068

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

交通量の増加に伴い、適切な交通安全施設の整備や交差点の改良が求められているため、事業を推進する必要がある。

事務事業名	市道21-039号線（高野山地先）道路整備				課名	道路課		
指標	交渉進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	10	目標値	10	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	10	達成率	100.00			予算額	0	1,424
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	1,424

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

高野山地区内の円滑な通行を図るために、高野山まちづくり事業で整備できなかった部分の整備を行う必要がある。

事務事業名	中峠・古戸の道路整備				課名	道路課		
指標	中峠南地区道路整備の検討進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	10	目標値	10	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	10	達成率	100.00			予算額	418	1,335
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	418	1,335

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

道路幅員が狭く、防災面の強化や快適な住環境を確保するため、道路整備が必要である。

施策を構成する事務事業

事務事業名					課名		道路課			
土谷津地区の道路整備					政策・経常		■政策 □経常 □なし			
指標	業務の進捗度				政策・経常		■政策 □経常 □なし			
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)		正職員人件費(千円)		
実績値	100	達成率	100.00			予算額	54,265	6,230		
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い	評価	結合	実績値	50,519	6,230
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)										
土谷津地区内の道路の多くは幅員が狭く、車両のすれ違いが困難な状態であるため、拡幅整備が必要となっている										
新木駅北口地区の道路整備					政策・経常		■政策 □経常 □なし			
指標	検討の進捗度				政策・経常		■政策 □経常 □なし			
現況値	5	目標値	10	単位	%	事業費(千円)		正職員人件費(千円)		
実績値	5	達成率	50.00			予算額	0	712		
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い	評価	結合	実績値	0	712
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)										
道路整備により通行の安全性を確保する必要がある。										
布佐小学校入口交差点改良事業					政策・経常		■政策 □経常 □なし			
指標	業務の進捗率				政策・経常		■政策 □経常 □なし			
現況値	6	目標値	100	単位	%	事業費(千円)		正職員人件費(千円)		
実績値	80	達成率	80.00			予算額	7,634	2,848		
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い	評価	結合	実績値	484	2,848
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)										
布佐小学校入口交差点及び小学校につながる道路の拡幅を行い、安全な通学路を確保する。										
狭あい道路(建築基準法第42条第2項道路)の拡幅指導と支援					政策・経常		□政策 □経常 ■なし			
指標	当該年度中にパトロールした件数/当該年度中に工事が完了した後退				政策・経常		□政策 □経常 ■なし			
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)		正職員人件費(千円)		
実績値	68	達成率	68.00			予算額	92	2,581		
事務事業の施策への貢献度					○高い ●普通 ○低い	評価	結合	実績値	92	2,581
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)										
狭隘道路の解消には、パトロールの実施が不可欠であるため引き続きパトロールを実施する必要がある。										

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
<ul style="list-style-type: none"> ・節の目標を達成するために効率的な施策だと考える。 ・生活道路の整備には、面的整備に伴う道路以外は基本的には考えられないことから、通行支障箇所の改善や老朽施設の更新、通行実態に応じた道路改良を実施するとともに道路の適切な管理、維持補修を行う必要がある。 ・実施には専門的知識を有している職員の配置とともに研修等で知識の習得も必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・節の目標を達成するために効率的な施策だと考える。 ・生活道路の整備には、面的整備に伴う道路以外は基本的には考えられないことから、通行支障箇所の改善や老朽施設の更新、通行実態に応じた道路改良を実施するとともに道路の適切な管理、維持補修を行う必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
<div style="text-align: right; font-size: 2em;">➔</div>	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
生活道路の整備は、市民生活に密接しているため、通行支障箇所の改善や老朽施設の更新、通行実態に応じた道路改良を実施するとともに、道路の適切な管理、維持補修を実施した。	本施策は、市民生活と密接な関係にあり、部の運営方針と直結する有効な施策と判断する。
改善検討	
●要 ○不要	
施策展開の改善点と展開方向	
・実施には、専門的知識を有している職員の人員配置などの措置が必要である。	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
<div style="text-align: right; font-size: 2em;">➔</div>	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	道路用地と道路施設の適切な管理・維持補修	施策コード	63202	施策主管部課	建設部 道路課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	生活道路の整備			関係課	
	(3) 節の目的	日常の暮らしを支える重要な施設である生活道路は、道路の安全性を高めるとともに、維持管理を充実します。また、道路空間のデザインや緑化に配慮し、魅力ある快適な道路整備をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	安全で快適に通行できるよう、道路用地と道路施設の適切な管理や効率的・効果的な維持補修を行います。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	道路空間			
どういう状態に		安全で快適に通行できるよう適切な維持管理が行われている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	限られた財源の中で事業であるため、市民ニーズを把握し、これを反映させる。					

施策指標	(7) 指標		指標の設定理由				
	① 市道の舗装率		道路整備状況が把握できる。				
	(8) 指標の目標値と実績値		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	①	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		90.52	90.52		
		達成率		90.52	90.52		
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	514,887	710,972	638,836	469,477
		人件費	114,405	111,606	112,674	112,674
		合 計	629,292	822,578	751,510	582,151
	(10) 実績値 (千円)	事業費	514,887	515,500		
		人件費	114,405	111,606		
合 計		629,292	627,106			

施策を構成する事務事業

事務事業名	道路用地の管理				課名	道路課		
指標	取得件数(取得額)				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	5,100	4,895
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	2,881	4,895

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

道路機能を確保するため、今後も道路用地の権原取得や賃貸借・使用貸借契約を締結する必要がある

事務事業名	放置車両の処理				課名	道路課		
指標	放置車両未発生率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	0	1,157
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	1,157

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

道放置車両の処理は道路管理者が行う事業であり、予防や発見のためパトロール等を現状のまま推進する。

事務事業名	法定外公共物管理				課名	道路課		
指標	譲渡件数/譲渡可能な申請件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0			予算額	290	1,780
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	1,780

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

法定外公共物の維持管理は所有者である地方自治体が行うこととなっているため、現状のまま推進する。

事務事業名	街路灯の新設及び維持管理				課名	道路課		
指標	街路灯補修率(街路灯補修件数/街路灯補修依頼件数)				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	58,423	2,848
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	58,975	2,848

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

今後も現状どおり推進していく。

事務事業名	道路の維持補修				課名	道路課		
指標	年間で予定している道路の維持修繕工事の進捗率				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	373,966	12,638
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	270,920	12,638

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

多くの維持管理要望に対し、安全に通行できる道路機能を確保するために有効な手段である。

事務事業名	道路パトロール				課名	道路課		
指標	パトロール実施率(パトロール実施件数/パトロール実施予定件)				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	520	10,324
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	448	10,324

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

安心、安全な道路通行を確保するために必要な事業である。

今後とも推進する。

事務事業名	道路台帳の修正				課名	道路課		
指標	道路台帳修正箇所/区域変更等の箇所				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	10,670	2,225
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	10,670	2,225

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

市以外が実施できないためこのまま推進する。

事務事業名	道路境界の査定				課名	道路課		
指標	境界査定確定率				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	8,188	4,005
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	5,206	4,005

事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)

官民の境界確定を道路管理者である市が行う。

施策を構成する事務事業

事務事業名	道路情報の提供（台帳、確定図の閲覧）				課名	道路課		
指標	認定路線等件数＋道路境界確定件数/データ投入件数 100%				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	2,607	3,293
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	2,557	3,293

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

来庁者への情報提供のために現状まま推進する。

事務事業名	道路環境の維持(経常的経費)				課名	道路課		
指標	道路清掃、草刈り業務執行率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	29,028	6,408
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	31,948	6,408

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

必要性が高い事業であるとともに、より効率的な運営を行う必要があると思われる。

事務事業名	道路の維持管理作業（土木センター）				課名	道路課		
指標	苦情等受付処理対応の土木センター緊急処理完了率（土木センター処				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	14,773	46,814
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	12,494	46,814

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

迅速に対応し、事故の発生を未然に防ぎ、安全で快適な道路環境の確保が必要である。

事務事業名	道路管理瑕疵の処理(訟務)				課名	道路課		
指標	道路瑕疵による事故処理率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	70	達成率	70.00			予算額	1,687	2,848
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	1,682	2,848

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

法令で市が対応することが定められている。

事務事業名	我孫子北口タクシー待機場所管理				課名	道路課		
指標	使用料徴収率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	0	達成率	0.00			予算額	293	890
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	291	890

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

引き続き推進していく

事務事業名	車両制限の許可				課名	道路課		
指標	許可件数/申請件数				政策・経常	□政策 □経常 ■なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	1,001	534
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	859	534

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

道路の構造を保全し、一般通行の危険防止のため、道路管理者である市が、許可判定を行う必要があるため、現状通り推進していく。

事務事業名	道路占用申請等の許可・承認事務				課名	道路課		
指標	処理率（許可件数/申請件数）				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	559	5,785
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	559	5,785

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

道路法に基づき、今後も事業を進めていく必要がある。

事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業				課名	道路課		
指標	業務の進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	203,867	5,162
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	116,010	5,162

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

予防的な対策を行うため、橋梁の点検を行う必要がある。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
<ul style="list-style-type: none"> ・節の目標を達成するために効率的な施策だと考える。 ・生活道路の整備は、面的整備に伴う道路整備以外は基本的には考えられないことから、通行支障箇所の改善や老朽施設の更新、通行実態に応じた道路改良を実施するとともに道路の適切な管理、維持補修を行う必要がある。 ・実施には専門的知識を有している職員の配置とともに研修棟で知識の習得も必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・節の目標を達成するために効率的な施策だと考える。 ・生活道路の整備は、面的整備に伴う道路整備以外は基本的には考えられないことから、通行支障箇所の改善や老朽施設の更新、通行実態に応じた道路改良を実施するとともに道路の適切な管理、維持補修を行う必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
<ul style="list-style-type: none"> ・節の目標を達成するために効率的な施策だと考える。 ・生活道路の整備は、通行支障箇所の改善や老朽施設の更新、通行実態に応じた道路改良を実施し、道路の適切な管理、維持補修を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当な評価と考える。 ・本施策は、市民生活と密接な関係があり、部の運営方針と直結する有効なものと判断する。
改善検討	●要 ○不要
施策展開の改善点と展開方向	
<ul style="list-style-type: none"> ・実施には専門的知識を有している職員の配置などの措置が必要である。 	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	道路空間の魅力化の推進	施策コード	63203	施策主管部課	建設部 道路課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	生活道路の整備			関係課	
	(3) 節の目的	日常の暮らしを支える重要な施設である生活道路は、道路の安全性を高めるとともに、維持管理を充実します。また、道路空間のデザインや緑化に配慮し、魅力ある快適な道路整備をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	魅力ある快適な道路空間をつくるため、その地域や道路にふさわしい路面のインターロッキングブロック舗装、街路灯のLED化、サインのデザイン、街路樹の選定などを行うとともに、街路樹の適切な維持管理を行います。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	道路空間			
どういう状態に		その地域や道路にふさわしい、魅力ある快適な道路空間となっている				
(6) 施策実施上の課題と対応	街路樹剪定により発生する剪定枝木のリサイクル化、病害虫防除での散布薬剤量の軽減化が必要である。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 自治会が管理するLED街路灯の設置率	魅力ある快適な道路空間の整備状況が把握できる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		97	98		
		達成率		97.00	98.00		
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(9) 予算 (千円)	事業費	46,768	48,732	48,732	48,732
	人件費	3,828	4,717	3,916	3,916
	合計	50,596	53,449	52,648	52,648
(10) 実績値 (千円)	事業費	46,768	45,096		
	人件費	3,828	4,717		
	合計	50,596	49,813		

施策を構成する事務事業

事務事業名	道路愛称の定着化				課名	道路課		
指標	愛称定着率				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	0	267
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	267
事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）								
道路管理者である市が実施することで道路愛称が定着化されるため現状のまま推進したい。								
事務事業名	街路樹の維持管理事業				課名	道路課		
指標	街路樹維持管理率（病害虫・支障枝等街路樹育成阻害要因の除去件数）				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	48,732	2,670
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	45,096	2,670
事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）								
街路樹の特徴や路線別の課題に基づき、剪定等を適正に行う必要がある。								
事務事業名	道路環境美化の活動支援（アダプトプログラム）				課名	道路課		
指標	団体数				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし		
現況値	18	目標値	20	単位	団体	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	21	達成率	95.24			予算額	0	1,780
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	1,780
事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）								
ボランティア団体へ参加団体としての登録を促し、今後も継続して参加団体への支援及び新規登録を増やすための勧誘を進める。								

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
<ul style="list-style-type: none"> ・本施策は、節の目標を達成する上での効率的な手段であるが、現時点においては道路本来の機能確保を優先させる必要があることから、本施策を主目的とした具体的な事業展開は難しい状況にある。 ・生活道路を魅力的ある空間にしていくためには、沿道の宅地や空き地を含めた警官の形成が必要となることから、市民との共同は必須となる。その地域や道路にふさわしい路面舗装、街路灯・サインのデザイン、街路樹の選定など魅力ある快適な道路空間を作るための人員配置が考慮されていない。 ・街路樹管理には、研修等による知識の習得も必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本施策は、節の目標を達成する上での効率的な手段であるが、現時点においては道路本来の機能確保を優先させる必要があることから、本施策を主目的とした具体的な事業展開は難しい状況にある。 ・生活道路を魅力的ある空間にしていくためには、沿道の宅地や空き地を含めた警官の形成が必要となる。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
<ul style="list-style-type: none"> ・節の目標を達成するために効果的な施策と考える。 ・生活道路の安全性を高めるとともに維持管理を適切に進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本施策は、市民生活と密接な関係があり、部の運営方針と直結する有効な施策と判断する。
改善検討	
○要 ●不要	
施策展開の改善点と展開方向	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域や道路にふさわしいサインのデザイン、街路樹の剪定など魅力ある快適な道路空間を作るために、専門的な知識を有している職員の配置などの措置が必要である。 	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	徒歩・自転車交通の安全性・快適性の確保	施策コード	63301	施策主管部課	建設部 道路課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	徒歩・自転車環境の整備			関係課	
	(3) 節の目的	安全で快適な歩行者空間の充実や自転車が安心して利用できる交通環境の整備をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	徒歩や自転車交通の安全性と快適性を高めるため、歩道の段差解消や障害物の除去などのバリアフリー化や、点字ブロックなどの安全施設の整備を進めるとともに、自転車走行空間の確保に努めます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	徒歩・自転車交通			
どういう状態に		安全性と快適性が高まっている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	既設歩道のバリアフリー化は、幅員の確保や縦断勾配が大きい個所の対応が困難であるが、より基準に近づけるようにする。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① バリアフリーお出かけマップにおける累計改良数	改良を要するとされる箇所の数値であるため。					
	② 天王台南口点字ブロックの整備延長	バリアフリー化整備状況が把握できる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	箇所	52	52	0	0
		実績値		34	34		
		達成率		65.38	65.38		
	②	目標値	m	500	500	0	0
		実績値		230	230		
		達成率		46.00	46.00		
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(9) 予算 (千円)	事業費	5,000	5,000	5,000	5,000
	人件費	2,349	2,047	2,403	2,403
	合計	7,349	7,047	7,403	7,403
(10) 実績値 (千円)	事業費	5,000	4,990		
	人件費	2,349	2,047		
	合計	7,349	7,037		

施策を構成する事務事業

事務事業名	バリアフリー歩道改良				課名	道路課		
指標	工事完了率				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)		正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00			予算額	5,000	1,335
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	4,990	1,335

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

社会活動の拡大として高齢者、障がい者の参加が求められており、都市機能として多様な歩道整備を進める必要がある。

事務事業名	我孫子隧道の歩道改修				課名	道路課		
指標	対応策検討の進捗率				政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	20	目標値	20	単位	%	事業費(千円)		正職員人件費(千円)
実績値	20	達成率	100.00			予算額	0	89
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	89

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

歩行者・自転車利用者の安全確保のため、情報収集及び関係機関との調整を継続していく。

事務事業名	白山跨線人道橋延伸整備及び信号機の設置				課名	道路課		
指標	人道橋の整備手法の検討進捗率				政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	10	目標値	10	単位	%	事業費(千円)		正職員人件費(千円)
実績値	10	達成率	100.00			予算額	0	623
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	623

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

高野山地区内の円滑な通行を図るために、高野山まちづくり事業で整備できなかった部分の整備を行う必要がある。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
<p>・ 徒歩や自転車交通の安全性と快適性を高めるためには、歩道のバリアフリー化、点字ブロックなどの安全施設の整備、自転車徒歩空間の確保は、節の目標を達成するための重要な施策である。</p> <p>・ 歩道のバリアフリー化については、重点的に進めていく必要があるため適切な人員配置が必要である。</p>	<p>・ 徒歩や自転車交通の安全性と快適性を高めるためには、歩道のバリアフリー化、点字ブロックなどの安全施設の整備、自転車徒歩空間の確保は、節の目標を達成するための重要な施策である。</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
<p>徒歩や自転車交通の安全性と快適性を高めるためには、歩道のバリアフリー化、点字ブロックなどの安全施設の整備、自転車徒歩空間の確保などを進めた。</p>	<p>本施策は、市民生活と密接な関係があり、部の運営方針と直結する有効な施策と判断する。</p>
改善検討	●要 ○不要
施策展開の改善点と展開方向	
<p>歩道のバリアフリー化については、重点的に進めていく必要があるため、適切な人員配置が必要である。</p>	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	自転車駐車場の利用促進	施策コード	63302	施策主管部課	建設部 道路課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	徒歩・自転車環境の整備			関係課	
	(3) 節の目的	安全で快適な歩行者空間の充実や自転車が安心して利用できる交通環境の整備をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	各駅周辺の自転車放置禁止区域内における歩行者等の安全を確保するため、自転車駐車場の利用促進や放置自転車のパトロール強化に取り組み、安全で快適な歩行者空間を創出します。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	各駅周辺で			
どういう状態に		快適な歩行者空間が創出されている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	放置自転車対策と自転車駐車場管理運営を自転車駐車対策事業として、総合的に推進したことにより、以前に比べ快適な歩行空間が確保されている。しかし、市が撤去・移送ができない民間施設や自転車駐車場で自転車を放置する者（無断利用者）もいることから、今後は、積極的に自転車駐車場への利用に誘導していくことが必要である。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 放置自転車の年間返還台数	放置自転車の返還台数を指標とすることで、自転車駐車場の利用促進が図られているかどうかを把握することができる。					
	② 一時使用を除く自転車駐車場利用率	自転車駐車場の利用率を指標とすることで、放置自転車が減り安全な歩行者空間を創出されているかどうかを把握することができる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	台	450	445	440	435
		実績値		94	94		
		達成率		478.72	473.40		
	②	目標値	台	80	80	80	80
		実績値		70	63		
		達成率		87.50	78.75		
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	0	160,950	154,990	155,190
		人件費	0	6,230	6,230	6,230
		合 計	0	167,180	161,220	161,420
	(10) 実績値 (千円)	事業費	0	155,148		
		人件費	0	6,230		
合 計		0	161,378			

施策を構成する事務事業

事務事業名	自転車等駐車対策事業				課名	道路課		
指標	自転車駐車場の利用率				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	75	目標値	80	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	63	達成率	78.75			予算額	160,950	6,230
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	155,148	6,230

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

事業の優先度は高く、高齢者の雇用促進の観点からも重要な施策である。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>放置自転車対策は、歩道等における歩行者空間の確保のため重要な事業であり、その受け皿としての自転車駐車場の管理運営は、市民サービスの向上を図るといった観点からも必要不可欠な施策である。</p>	<p>自転車駐車場の利用促進は、駅周辺等の歩行者空間の確保に重要な施策であり、自転車駐車場の適切な維持管理運営及び放置自転車対策の強化を図り、良好な歩行者空間の確保を行っていく必要がある。新型コロナウイルスの影響を考慮しつつ、サービスレベルを確保しながら管理運営に係る費用の適正化を図る必要がある。</p>
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
<p>平成30年度まで返還件数450件をお越えていたが、放置自転車対策の効果により、返還件数は2年連続で100件を下回った。引き続き、歩道等における歩行者空間の安全確保のため、適正な運営を行っていく。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数の落ち込みはあったものの、感染防止対策を行いながら適正な運営ができていることは評価できる。また、放置自転車対策の効果もあり、返還件数が減少したこともあわせて評価したい。今後も、適正な運営を行いながらも、利便性の向上を図りつつ業務の効率化を行い運営経費の削減にも努めていく必要がある。</p>
改善検討	
○要 ●不要	
施策展開の改善点と展開方向	
→	

2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	鉄道の輸送力の強化と利便性の向上	施策コード	63401	施策主管部課	企画財政部 企画課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	公共交通の利便性の向上			関係課		
	(3) 節の目的	通勤通学や買い物などの日常生活の移動を円滑で快適なものとするため、JR成田線をはじめ公共交通の輸送力や利便性を高めます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	市民が快適に通勤・通学や日常生活に必要な移動ができるよう、重要な公共交通機関であるJR成田線の増発やJR常磐線の特別快速の我孫子駅停車、快速電車の削減ダイヤの復元、東京駅乗り入れ枠の拡大と東海道線との相互直通運転などをJR東日本に働きかけ、鉄道の輸送力の強化と利便性の向上を図ります。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	JR成田線とJR常磐線				
どういう状態に		輸送力が強化され、利便性も向上している。					
(6) 施策実施上の課題と対応	JR成田線の増発やJR常磐線の特別快速の我孫子駅停車、快速電車の削減ダイヤの復元など市民の交通の利便性が向上するよう、毎年JR東日本に対し要望を実施しているが、実現には至っていない。実現は事業主体であるJR東日本の取り組みとなるため、沿線自治体が協力して実現に向けた働きかけを継続して行っていく。						

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① JR成田線の増発本数	増発が利用者の利便性向上に直接つながるため。					
	② 我孫子駅に停車する常磐線特別快速の往復本数	我孫子駅に停車する本数が増えることが利用者の利便性向上に直接つながるため。					
	③ 常磐線の東京駅乗り入れの往復本数	常磐線の東京駅に乗り入れは、利用者の利便性向上に直接つながるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	本	1	2	2	2
		実績値		0	0		
		達成率		0.00	0.00		
	②	目標値	本	6	6	6	6
		実績値		0	0		
達成率		0.00		0.00			
③	目標値	本	41	41	41	41	
	実績値		41	52			
	達成率		100.00	126.83			

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	2,356	949	582	582
		人件費	7,482	7,654	7,654	7,654
		合計	9,838	8,603	8,236	8,236
	(10) 実績値 (千円)	事業費	2,356	708		
		人件費	7,482	7,654		
合計		9,838	8,362			

施策を構成する事務事業

事務事業名	常磐線の利便性向上				課名	企画課		
指標	要望事業数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	3	目標値	3	単位	項目	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	3	達成率	100.00			予算額	423	3,471
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	190	3,471

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

常磐線は我孫子市民にとって重要な交通手段であることから、さらなる利便性の向上を実現させるため、引き続き要望活動等事業を推進する必要がある。

事務事業名	成田線の輸送力強化と利便性向上				課名	企画課		
指標	要望実績数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	9	目標値	13	単位	項目	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	15	達成率	115.38			予算額	476	4,005
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	468	4,005

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

成田線は我孫子市民にとって重要な交通手段であることから、継続して利便性向上等を推進していくためにも、JR東日本への要望活動は継続していく必要がある。

事務事業名	成田空港活用協議会への参画				課名	企画課		
指標	事業の提案数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	1	目標値	1	単位	案	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	1	達成率	100.00			予算額	50	178
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	50	178

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

空港のアクセス路線である成田線（我孫子～成田間）のPRを進めるため、成田線活性化推進協議会と連携しながら、本事業引き続き推進していく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
市民の通勤・通学や日常生活の移動に、鉄道の輸送強化と利便性向上は必要不可欠である。利用率の向上と要望実現のため、引き続き、要望活動などに着実に取り組んでいく。	鉄道の利便性向上は、定住化の促進などまちづくりの観点から重要な施策であり、引き続き取り組みを進めていく必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
常磐線・成田線は、市民にとって重要な交通手段であることから、引き続き輸送力強化と利便性向上に向けて要望活動などに取り組む必要がある。	鉄道の利便性向上は、定住化などまちづくりの施策に大きな影響を与えることから、施策として引き続き取り組んでいく必要がある。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	バスの輸送力と利便性の向上	施策コード	63402	施策主管部課	建設部 道路課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	公共交通の利便性の向上			関係課	
	(3) 節の目的	通勤通学や買い物などの日常生活の移動を円滑で快適なものとするため、JR成田線をはじめ公共交通の輸送力や利便性を高めます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	市民が快適に通勤・通学や日常生活に必要な移動ができるよう、駅や各施設への重要な交通手段であるバス路線の延長など、地域住民や公共交通事業者と連携し、バス輸送力と利便性の向上を図ります。また、市域東側の新たな公共交通として、シャトルバスの導入について市内バス事業者等と協議していきます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市民が			
どういう状態に		安全で快適にバスを利用している。				
(6) 施策実施上の課題と対応	高齢者等を対象とした送迎バス活用事業については、送迎バスを利用する際に、空席が無い場合は利用することができないことや、民間事業者の厚意で成り立っている事業であることを、利用者に理解してもらい、公共交通とは一線を画した事業として進めていく必要がある。市民バス運行事業については、経費削減のために運行経費縮減策を検討する必要がある。地域に市の財政状況を理解いただきながら、協力を求め、改善策を検討していく。 (仮称)シャトルバスについては、市民の意向を把握しながら、より便利な交通となるよう検討を進めていく。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 市民バスの利用者数	市民バスの乗客数を指標とすることで、バスによる地域交通の利便性が向上しているかどうかを把握することができる。					
	② 送迎バス利用者の登録数 (隔年)	送迎バスの利用者数を指標とすることで、高齢者等の外出応援事業の効果を把握することができる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	人	220,000	220,000	220,000	220,000
		実績値		160,327	171,552		
		達成率		72.88	77.98		
	②	目標値	人	10	10	10	10
		実績値		10	10		
		達成率		100.00	100.00		
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	2,590	83,050	81,578	82,138
		人件費	3,567	15,664	12,015	12,015
		合計	6,157	98,714	93,593	94,153
	(10) 実績値 (千円)	事業費	2,590	77,243		
		人件費	3,567	15,664		
合計		6,157	92,907			

施策を構成する事務事業

事務事業名					事業者等の送迎バスの空席を活用した外出応援事業		課名	道路課			
指 標					外出応援バス事業者数		政策・経常	□政策 ■経常 □なし			
現況値		10	目標値	10	単位	事業者数	事業費(千円)		正職員人件費(千円)		
実績値		10	達成率	100.00			予算額		1,083	5,118	
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い		評価	結合	実績値	902	5,118
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)											
市民の生活の移動手段の確保から優先度は高い											
事務事業名					我孫子市地域公共交通協議会運営		課名	道路課			
指 標					あびバス・ふれあいバス(市内バス停)利用者数		政策・経常	■政策 ■経常 □なし			
現況値		160,328	目標値	220,000	単位	人	事業費(千円)		正職員人件費(千円)		
実績値		171,552	達成率	77.98			予算額		77,097	6,898	
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い		評価	結合	実績値	71,471	6,898
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)											
地域の公共交通の活性化を担う組織であり、優先度は高い											
事務事業名					新型コロナウイルス感染拡大に伴う公共交通事業者支援		課名	道路課			
指 標					支援金交付事業者数		政策・経常	■政策 □経常 □なし			
現況値		19	目標値	19	単位	者	事業費(千円)		正職員人件費(千円)		
実績値		16	達成率	84.21			予算額		4,870	0	
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い		評価	その他	実績値	4,870	0
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)											
公共交通事業等を支援することで、市民生活の移動手段が確保できることから、優先度は高い											

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
市民バスの運行については、市内の交通不便及び空白地区の解消を図る重要な事業である。事業者等の送迎バスの空席を活用した外出応援事業は、公共交通を補完する移動手段として重要な事業である。このような事業の展開は、市民の移動における利便性を向上するために必要不可欠な施策である。	市民バスの運行、市内を走る民間事業者の送迎バスを活用した外出応援事業等による市民の移動手段の確保に係る施策は、高齢化が進む市の現状から考えても重要であり、推進していく必要がある。 法令により策定が努力義務化された地域公共交通計画について、策定を進めるとともに、新型コロナウイルスにより苦境に立つ地域公共の維持確保を進めていく必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、利用者数が減少する中においても、感染拡大防止の徹底を図り、民間路線バスと同様に国からの要請に基づき、通年で休業することなく事業を実施することができた。	新型コロナウイルス感染症の影響の中で公共交通は地域の経済及び市民生活の足として重要であり、必要不可欠である。今後は、国県の動向を定め、感染拡大防止及び燃料価格高騰対策についても支援していく必要がある。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	駅施設のバリアフリー化の推進	施策コード	63403	施策主管部課	建設部 道路課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	公共交通の利便性の向上			関係課	
	(3) 節の目的	通勤通学や買い物などの日常生活の移動を円滑で快適なものとするため、JR成田線をはじめ公共交通の輸送力や利便性を高めます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	誰もが安全で快適に駅施設を利用できるよう、新木駅では、自由通路を整備し、駅南口・北口にエレベーター・エスカレーターを設置するとともに、我孫子駅と天王台駅では、自由通路の整備を検討します。また、駅構内のエレベーターの設置を支援します。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市民が			
どういう状態に		安全で快適に駅施設を利用している。				
(6) 施策実施上の課題と対応	我孫子駅では、ホームエレベーターが未整備となっているため、設計段階から整備主体であるJR東日本に支援を行っていく。また、ホームドアについては、支援に向けてJR東日本と協議を進めていく。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 駅維持管理箇所数（対応箇所数）	駅維持管理箇所数（対応箇所数）を指標とすることで、市民が快適に駅施設を利用できているかどうか把握することができる。					
	② 我孫子駅ホームエレベータ等整備工事進捗率	我孫子駅ホームエレベータ整備工事の進捗率を指標とすることで、目標の達成状況を把握することができる。					
	③ 我孫子・天王台駅緩行線ホームドア整備線数	我孫子・天王台駅緩行線ホームドア整備線数を指標とすることで、目標の達成状況を把握することができる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	箇所	5	5	5	5
		実績値		5	5		
		達成率		100.00	100.00		
	②	目標値	基	25	60	95	100
		実績値		25	60		
達成率		100.00		100.00			
③	目標値	線	0	0	0	2	
	実績値		0	0			
	達成率		0	0			

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	0	373,945	232,772	184,379
		人件費	0	11,125	11,125	11,125
		合計	0	385,070	243,897	195,504
	(10) 実績値 (千円)	事業費	0	265,326		
		人件費	0	11,125		
合計		0	276,451			

施策を構成する事務事業

事務事業名 駅施設維持管理事業					課名 道路課				
指標 対応箇所数					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	5	目標値	5	単位	箇所	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	5	達成率	100.00			予算額	47,279	5,118	
事務事業の施策への貢献度 ●高い ○普通 ○低い					評価	結合	実績値	143,114	5,118

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

事業の優先度は高く、バリアフリーに向けた事業を推進していく必要がある。

事務事業名 駅構内バリアフリー施設等の整備・支援					課名 道路課				
指標 当該年度進捗率					政策・経常 <input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	60	目標値	60	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	60	達成率	100.00			予算額	326,666	6,008	
事務事業の施策への貢献度 ●高い ○普通 ○低い					評価	結合	実績値	122,212	6,008

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

新バリアフリー法の施行に伴い、事業の優先度は高い

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
我孫子駅のホームエレベーターは、市民から早期整備の要望も高いことから、JR東日本との協定に基づき、支援を行いながら着実に工事を進めていく。	我孫子駅のホームエレベーター整備は、市の重点施策であり、市民の関心も高いことから、綿密な協議を重ね、市民生活に影響のある工事については、適宜、お知らせを行っていくよう進めてもらいたい。 ホームドアについては、近年、利用者の多い駅において、利用者の安全を守るための必須施設であることから、JR東日本と引き続き綿密な協議を重ねてもらいたい。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
令和2年10月6日工事着工以来、順調に工事は推移している。引き続き、JRと協議を進め、早期供用開始に向けて取り組んでいきます。	我孫子駅は、市民が最も利用する駅であると同時に我孫子市の顔となる駅でもあることから、駅利用者に影響のある工事であり、JRと協力し、利用者に周知していくことが必要である。早期完成のために協力できることは、全て実施していく方針で業務を進めてもらいたい。
改善検討	
<input type="radio"/> 要 <input checked="" type="radio"/> 不要	
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	交通安全の啓発	施策コード	63501	施策主管部課	市民生活部 市民安全課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	交通安全			関係課	
	(3) 節の目的	交通事故から市民を守るため、交通安全意識を高めるとともに、安全な交通環境の整備をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	交通事故から市民を守り、交通マナーの向上を図るため、警察署や学校、各種関係団体と連携し、交通安全教室や通学時の街頭指導、シルバーリーダーの育成などに取り組むとともに、歩行者の安全に配慮した自転車の運転マナーを向上させるための啓発活動や自転車保険への加入を促進し、市民の交通安全意識を高めます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市民			
		どういう状態に	交通安全意識が高まっている			
(6) 施策実施上の課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・市に啓発活動を行える交通指導専門の職員がいないため、警察・交通安全協会の協力が不可欠となっているが、交通安全協会の地域交通安全推進委員の人員確保にも課題がある。このため、交通安全教室等の実施回数を増やすことが困難であるが、交通事故防止のため、今後も啓発活動の継続が必要である。 ・各学校において、交通安全教室のカリキュラムの設定が難しくなっているが、当面の対応として、小・中学校の校長会で交通安全教室の開催を働きかけていく。 ・各幼稚園、保育園にも幼児からの交通安全教室の重要性を訴えていく。 					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 交通安全指導の実施回数	市民の交通安全意識を高める。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	回	48	48	48	48
		実績値		18	36		
		達成率		37.50	75.00		
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	2,924	3,102	3,127	3,127
		人件費	10,875	4,450	7,120	7,120
		合計	13,799	7,552	10,247	10,247
	(10) 実績値 (千円)	事業費	2,924	2,756		
		人件費	10,875	4,450		
		合計	13,799	7,206		

施策を構成する事務事業

事務事業名	交通安全普及啓発活動の推進				課名	市民安全課		
指標	交通安全教室及び通安全大会など啓発事業の開催回数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	36	目標値	52	単位	回	事業費(千円)		正職員人件費(千円)
実績値	36	達成率	69.23			予算額	3,102	4,450
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	2,756	4,450
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)								
今後も、継続的に実施することで交通安全に対する意識が着実に向上し、交通事故の防止につながる。								

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
警察、交通安全協会等と連携し、交通安全教室などの啓発活動を行い交通安全意識の向上、交通事故の防止を図る。	警察と市等が連携し、全国交通安全運動を基にした啓発活動を特に子どもや高齢者へ行うことが重要になっている。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
警察、交通安全協会等と連携し、交通安全教室などの啓発活動を行い交通安全意識の向上、交通事故の防止を図ることが重要と考える。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、実施する回数が減少していたが、今後も継続的に実施することで交通安全に対する意識が着実に向上し、交通事故の防止につなげていく。	警察と市等が連携し、全国交通安全運動を基にした啓発活動を特に子どもや高齢者へ行うことが重要になっている。今後も引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、交通安全啓発事業の実施し、より多くの市民に啓発していく。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	安全な交通環境の整備	施策コード	63502	施策主管部課	市民生活部 市民安全課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	交通安全			関係課	道路課
	(3) 節の目的	交通事故から市民を守るため、交通安全意識を高めるとともに、安全な交通環境の整備をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	市内の交通事故件数を減少させるため、道路管理者や警察などの関係機関と連携し、適切な交通規制の実施、交差点の改良やカーブミラーなどの整備を進め、安全な交通環境をつくります。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市民			
どういう状態に		安全な交通環境が整備されている				
(6) 施策実施上の課題と対応	・交通事故減少のためには、交通安全対策の専任体制が必要である。現在の人数は、防犯業務も含め会計年度職員を入れ3名であり、体制の強化が必要である。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 危険箇所共同現地診断での交通安全施設の整備数	安全な交通環境が整備される。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	箇所	2	2	2	2
		実績値		2	2		
		達成率		100.00	100.00		
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(9) 予算 (千円)	事業費	31,239	30,487	30,756	30,756
	人件費	2,697	2,670	2,759	2,759
	合計	33,936	33,157	33,515	33,515
(10) 実績値 (千円)	事業費	31,239	30,290		
	人件費	2,697	2,670		
	合計	33,936	32,960		

施策を構成する事務事業

事務事業名	交通安全施設整備				課名	道路課		
指標	交通安全施設工事完了率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	30,487	2,670
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	30,290	2,670

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

地域事情に対応した交通環境の整備として安全対策を講ずる必要がある。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
交通事故多発箇所の改善や事故防止の注意看板の設置等、交通事故を未然に防止する対策を図る必要がある。	警察、道路管理者等が連携し、交通事故の未然防止、減少させるための現状に合わせた対策を講ずる必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
交通事故多発箇所の改善や事故防止の注意看板の設置等、交通事故を未然に防止する対策を図る必要がある。引き続き通学路の点検などで危険箇所を発見した場合は、関係機関と協議し迅速に対応していく。	警察、道路管理者等が連携し、交通事故の未然防止、減少させるための現状に合わせた対策を講ずる必要がある。今後も引き続き安全な交通環境を整えていく。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	

2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	市営住宅の改善と効率的な供給	施策コード	64001	施策 主管部課	都市部 建築住宅課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	良質な住宅供給の促進			関係課	
	(3) 節の目的	公営住宅の供給・改善に努めます。また、バリアフリー等の住宅改造への支援や、住宅に関する総合的な情報提供をすすめるとともに、定住化を支える新たな住宅施策に取り組みます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	住宅に困窮する低所得者などに対し、安全で質の高い市営住宅を供給するため、老朽施設の改修、バリアフリー化の推進などを計画的に行います。また、市営住宅ごとの入居申込み件数を注視しながら、民間住宅の活用を視野に入れた、より広い枠組みの中で効率的かつ柔軟な供給を進めていきます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市営住宅			
どういう状態に		施設の良質化や安全性が向上しているとともに、効率的な供給がされている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	次年度に新たな長寿化計画を策定し、基本計画に基づく人口推計により、将来のストック量を検討する。その結果に基づき今後の市営住宅のあり方について検討していく。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 市営住宅の平均入居率	住宅に困窮する低所得者等に対し、安全で質の高い住宅供給に寄与する指標であるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値		100	100	100	100
		実績値	%	88.1	87.1		
		達成率		88.10	87.10		
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	23,505	27,977	28,064	28,539
		人件費	26,100	21,805	21,805	21,805
		合計	49,605	49,782	49,869	50,344
	(10) 実績値 (千円)	事業費	23,505	27,862		
		人件費	26,100	21,805		
合計		49,605	49,667			

施策を構成する事務事業

事務事業名	市営住宅使用料調定及び徴収事務				課名	建築住宅課	
指標	当該年度住宅使用料徴収率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	97	目標値	98	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	96	達成率	97.96			予算額	591
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	591 8,010

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市営住宅使用料等は、市営住宅の維持管理の財源として、重要である。今後も家賃徴収率の向上に努めていく。

事務事業名	市営住宅入居者管理業務				課名	建築住宅課	
指標	各申請受付件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	152	目標値	170	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	165	達成率	97.06			予算額	419
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	388 7,565

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

適正な入居募集と入居管理業務を行っていく。

事務事業名	市営住宅維持管理業務				課名	建築住宅課	
指標	給水設備等点検（7件）、樹木剪定等（6件）、土地賃貸借契約の締結				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	21	目標値	21	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	29	達成率	138.10			予算額	26,967
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	26,883 6,230

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

住宅困窮者へのセーフティネットとして、事業の優先度は高い。

事務事業名	市営住宅東我孫子電波障害対策用電柱共架施設の撤去				課名	建築住宅課	
指標	調査の結果、影響が無かった範囲の共架施設（電柱の本数）				政策・経常	□政策 □経常 ■なし	
現況値	22	目標値	22	単位	本	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	0	達成率	0.00			予算額	0
事務事業の施策への貢献度	○高い ○普通 ●低い			評価	結合	実績値	0 0

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

施策に貢献しており、今後も継続して実施すべき事業である。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
①施策は効果的な手段となっている。 ②社会状況の変化に対応した内容である。 ③目標設定は妥当である。 ④入居者が安全・安心に暮らせるよう、適切な施設の修繕を実施している。 ⑤事業の性質から協働は考えにくい。 ⑥徴収事務を適正に実施することにより、適切な財源を得ている。 ⑦市営住宅の維持・運営管理全般に対し、適切な人員の配置が求められる。	①～④目標設定のため有効な施策及び事業である。 ⑤事業の性質から考えにくい。 ⑥徴収率をより向上させることにより、さらなる財源確保に努める。 ⑦市営住宅の維持・運営管理全般に対し、適切な人員の配置が求められる。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
①施策は効果的な手段となっている。 ②社会状況の変化に対応した内容である。 ③目標設定は妥当である。 ④施設管理や修繕の業務委託化や大規模改修など有効な事実を実施している。 ⑤事業の性質から協働は考えにくい。 ⑥徴収事務を適正に実施し、適正な財源を得ている。 ⑦市営住宅の維持・運営管理全般に対し、適切な人員の配置が求められる。	①～④目標設定のため有効な施策及び事業である。 ⑤事業の性質から考えにくい。 ⑥～⑦財源配分、人員配置は適切と考えるが、市営住宅の維持・運営管理全般に対しては、適切な人員の配置が必要と考える。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	住宅支援策の充実	施策コード	64002	施策主管部課	都市部 建築住宅課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	良質な住宅供給の促進			関係課		
	(3) 節の目的	公営住宅の供給・改善に努めます。また、バリアフリー等の住宅改造への支援や、住宅に関する総合的な情報提供をすすめるとともに、定住化を支える新たな住宅施策に取り組みます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	住生活に対する市民の多様なニーズに対応するため、住まいにかかわる相談窓口や総合的な情報提供を充実するとともに、若い世代の住宅取得や住宅リフォーム、液状化被害を受けた住宅等の敷地の有効活用、高齢者や障害者のためのバリアフリー化などに対する支援を進めます。また、市内への定住化を進めるために必要な住宅支援制度の充実を図ります。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度				
		何（誰）を対象に	市内外の人々				
		どういう状態に	定住化につながる住宅支援策が充実している。				
(6) 施策実施上の課題と対応	住宅支援策について市内外へ広く周知を図る必要がある。広報あびこや市ホームページの活用、不動産事業者等への依頼、広報担当部署との連携などを効果的に推進する。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 住宅・不動産相談の実施件数	市民の住まいに関わる相談事について、専門家による相談窓口を設けることで住まいに関する不安を解消し住環境の向上につながる					
	② 住宅取得・リフォーム補助金の申請件数	転入者を含む市内の定住促進を進めるうえで、最も実数に近い、参考となる指標である					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	件	46	16	30	30
		実績値		0	0		
		達成率		0.00	0.00		
	②	目標値	件	555	444	530	530
		実績値		456	471		
		達成率		82.16	106.08		
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	56,232	41,784	39,321	39,321	
		人件費	23,490	24,030	17,800	17,800	
		合計	79,722	65,814	57,121	57,121	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	56,232	40,227			
		人件費	23,490	24,030			
		合計	79,722	64,257			

施策を構成する事務事業

事務事業名					マンション管理に関する支援事業		課名	建築住宅課			
指標					セミナー・個別相談会の参加団体数		政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし			
現況値	0	目標値	5	単位	団体	事業費(千円)	正職員人件費(千円)				
実績値	2	達成率	40.00					予算額	0	3,115	
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い		評価	結合	実績値	0	3,115

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

分譲マンションの居住者等の関係者にとって、相談窓口としての重要な役割を担っている。

事務事業名					住宅・不動産相談及び住宅情報提供業務		課名	建築住宅課			
指標					住宅・不動産相談者数		政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし			
現況値	1	目標値	16	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)				
実績値	5	達成率	31.25					予算額	0	3,115	
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い		評価	結合	実績値	0	3,115

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民の負担軽減につながる事業であり、情報提供などを常に拡充していく。

事務事業名					我孫子市増改築等工事施工業者紹介制度		課名	建築住宅課			
指標					申込件数		政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし			
現況値	64	目標値	82	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)				
実績値	65	達成率	79.27					予算額	0	2,225	
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い		評価	結合	実績値	0	2,225

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民の負担軽減につながる事業として、必要な対応を実施。

事務事業名					災害支援補助事業（震災対応）		課名	建築住宅課			
指標					補助金申請件数（液化化補助金）		政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし			
現況値	0	目標値	5	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)				
実績値	1	達成率	20.00					予算額	1,000	3,560	
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い		評価	その他	実績値	500	3,560

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

令和3年度末を以って、予定していたすべての事業が完了した。

事務事業名					住宅リフォーム補助事業		課名	建築住宅課			
指標					補助金の申請件数		政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし			
現況値	213	目標値	213	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)				
実績値	267	達成率	125.35					予算額	22,416	4,450	
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い		評価	結合	実績値	22,411	4,450

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

居住環境の安定と向上、また市内の建設産業の活性化などに繋がっており、有効な住宅支援策として引き続き内容の拡充を図っていく。

事務事業名					若い世代の住宅取得支援		課名	建築住宅課			
指標					交付申請数（令和2年度実績：243件）		政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし			
現況値	243	目標値	231	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)				
実績値	204	達成率	88.31					予算額	18,368	4,895	
事務事業の施策への貢献度					●高い ○普通 ○低い		評価	結合	実績値	17,316	4,895

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は若い世代の定住化に必要な事業であるが、市の財政的負担を考慮しつつ、若い世代の定住化の促進に繋がる事業となるよう、見直しを続けていく。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
① 市民の定住化に向けて効果的な手段と考える。 ② 市民ニーズに適合していると考ええる。 ③ 目標設定は妥当と考える。 ④ 有効な事業を展開していると考ええる。 ⑤ 市民が主体となって良質な住宅を確保することを行政が支援するものであり、結果として協働と同様の効果を得ている。 ⑥ 財源配分は妥当と考える。 ⑦ 更なる業務増加に対して人員配置を強化すべきである。	①～④ 有効かつ妥当な施策及び事業である。 ⑤ 協働と同様の効果を得ている。 ⑥ 財源配分は適切である。 ⑦ 人員配置を強化すべきである。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
① 市民の定住化に向けた効果的な手段と考える。 ② 市民ニーズの一つとして、適合していると考ええる。 ③ 目標設定は妥当と考える。 ④ 有効な事業を展開していると考ええる。 ⑤ 市民が主体となり、良質な住宅を確保することを行政が支援していることで、考え方によっては協働と捉えることができる。 ⑥ 事業への財源配分は妥当と考える。 ⑦ 人員配置は適切と考える。	①～④ 部の運営方針、課の目標に沿った施策であり、節の目的達成に効果的な施策である。また、実施した事業は、施策推進に有効であった。 ⑤ 行政が実施すべき施策である。(市民の取組に対する行政支援) ⑥⑦ 財源配分、人員配分ともに適切であった。
改善検討	
○要 ●不要	
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	誇りと愛着を感じさせる魅力あるまち並みの保全・育成	施策コード	65001	施策主管部課	都市部 都市計画課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	魅力あるまち並みの実現			関係課	
	(3) 節の目的	心を豊かにし、まちに誇りと愛着を感じさせる魅力ある景観を保全します。また、地区の個性をいかし、調和のとれた優れた景観の創出をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	市民が我孫子市の景観に誇りと愛着を感じられるよう、魅力的な景観ポイントや市民の優れた景観活動などの情報発信を進め、景観づくり市民団体などと協働して啓発事業を実施します。また、魅力あるまち並みの保全・育成を図るため、地域の景観づくりに携わる市民団体や地域住民、事業者とともにハケの道の沿道緑化などに取り組みます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	市民			
どういう状態に		魅力あるまち並みを保全・育成する意識が高まっている				
(6) 施策実施上の課題と対応	景観形成に関する情報発信や啓発を目的としたイベント等の実施にあたっては、特に若い世代をはじめ、幅広い世代の参加を促すための手法を検討する必要があります。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 景観形成情報発信・啓発イベントの実施回数	良好な景観の形成には市民1人1人が景観を意識することが重要であるため、当該指標を設定した。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	回	4	4	4	4
		実績値		4	4		
		達成率		100.00	100.00		
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(9) 予算 (千円)	事業費	247	234	295	356
	人件費	7,830	8,900	8,010	8,010
	合計	8,077	9,134	8,305	8,366
(10) 実績値 (千円)	事業費	247	190		
	人件費	7,830	8,900		
	合計	8,077	9,090		

施策を構成する事務事業

事務事業名	景観ポイント整備・誘導				課名	都市計画課		
指標	市民団体によるハケの道沿道における植栽活動の支援回数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	3	目標値	3	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	1	達成率	33.33			予算額	69	4,005
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	25	4,005

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

景観ポイントの整備は、我孫子市の景観の魅力を高め市民の景観に対する興味関心の喚起や市外在住者へのまちPRに寄与するものである。

事務事業名	景観形成情報発信・啓発事業				課名	都市計画課		
指標	「我孫子のいろいろ八景歩き」の実施回数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	4	目標値	4	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	4	達成率	100.00			予算額	165	4,895
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	165	4,895

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

良好な景観を保全・形成することの意義が重要性を市民等に広めていくことは、景観形成の推進において、非常に重要であり、様々な媒体、ツールを活用しながら今後も継続していく必要がある。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
誇りと愛着を感じる魅力あるまち並みの保全・育成を進めていくためには、本施策に基づき市民と協働でハケの道の修景活動やイベント等を実施し、景観に関する市民の意識啓発を図る必要がある。	誇りと愛着を感じる魅力あるまち並みの保全・育成を図るうえで必要な施策である。実施にあたっては、市民や市民団体と協働で取り組みを進めていくことが重要となる。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
良好な景観形成の重要性や必要性について市民等への普及啓発を推進するため、引き続き、市内の魅力的な景観ポイントに関する情報発信やハケの道の修景活動等を市民・市民団体と協働で進めていく必要がある。	①～④ 節の目的達成に貢献している施策である。今後の施策展開について、特に情報発信の部分では、令和3年度に運用を開始した我孫子市公開型GIS「あびまっぷ」の活用など、デジタル化を進めていく必要がある。 ⑤ 我孫子市景観条例で規定する「景観づくり市民団体」に認定されている「我孫子の景観を育てる会」をはじめ、市民・市民団体と協働で各事業を実施した。 ⑥⑦ 既存事業のブラッシュアップや新規事業の立案・実施・見直しを継続的に行っていくためには、最低限、現状の人員配置を維持する必要がある。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（令和3年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	地区の個性をいかし、調和のとれた優れた景観の創出	施策コード	65002	施策主管部課	都市部 都市計画課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	魅力あるまち並みの実現			関係課	
	(3) 節の目的	心を豊かにし、まちに誇りと愛着を感じさせる魅力ある景観を保全します。また、地区の個性をいかし、調和のとれた優れた景観の創出をすすめます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	地区の個性をいかし、調和のとれた景観を創出するため、景観アドバイザー制度などを活用しながら、景観計画区域内行為の事前協議・届出を通じて、民間建築物などの景観誘導を進めるとともに、公共事業では先導的な優れた景観づくりを進めます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和3年度			
		何（誰）を対象に	民間の建築物等や、公共施設及び公共サイン			
どういう状態に		調和のとれた優れた景観づくりが行われている				
(6) 施策実施上の課題と対応	民間事業や公共事業にとって適切なタイミングで景観誘導を行うことが重要であることから、庁内関係課との連携を密にして行う必要がある。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 景観誘導協議合意率	民間事業者による開発行為や建築行為等への景観誘導の成果指標として、事前協議の合意率（＝景観形成基準の適合率）を設定した。					
	② 公共事業の景観形成基準への適合率	公共事業は、良好な景観形成を図るうえで先導的な役割を担うものであることから、公共事業の景観形成基準への適合率を設定した。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	①	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		100	100		
		達成率		100.00	100.00		
	②	目標値	%	100	100	100	100
		実績値		100	100		
		達成率		100.00	100.00		
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	4,899	2,664	2,668	2,668
		人件費	8,265	13,350	8,455	8,455
		合計	13,164	16,014	11,123	11,123
	(10) 実績値 (千円)	事業費	4,899	2,586		
		人件費	8,265	13,350		
合計		13,164	15,936			

施策を構成する事務事業

事務事業名	屋外広告物の許可申請事務				課名	都市計画課		
指標	違反広告物の簡易除却件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	1,331	目標値	1,200	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	669	達成率	179.37			予算額	2,587	4,450
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	2,586	4,450

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

屋外広告物法や千葉県屋外広告物条例、我孫子市景観条例に基づく事業のため、今後も継続する必要がある。

事務事業名	景観計画区域内行為の景観誘導				課名	都市計画課		
指標	景観誘導協議済率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	33	5,785
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	5,785

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

我孫子市景観条例及び我孫子市景観形成基本計画に基づく事業であるため、事業の優先度は高い。

事務事業名	公共事業における景観誘導				課名	都市計画課		
指標	景観誘導協議済率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	44	3,115
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	結合	実績値	0	3,115

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

多くの市民等が利用する公共施設は、我孫子市の景観を印象づける重要な要素の1つであり、良好な景観形成のため、公共施設の景観誘導を引き続き実施していく必要がある。

2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価

施策主管課長	施策主管部長
地区の個性を生かし調和のとれた景観を創出するためには、本施策に基づいて、景観アドバイザーを活用しながら、民間建築物などの景観誘導を進めるとともに、公共事業において先導的な優れた景観づくりを進めていくことが重要である。	地区の個性を生かし、調和のとれた景観を創出していくうえで重要な施策であり、景観アドバイザーを活用しながら景観誘導を進めていく必要がある。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価

施策主管課長	施策主管部長
手賀沼をはじめとする市の景観資源を活かした魅力あるまちなみを保全・形成するため、引き続き、景観アドバイザーを活用しながら民間建築物等の景観誘導や公共事業における先導的で優れた景観づくりを進めていく必要がある。	①～④ 節の目的達成に貢献している施策である。市の新たな総合計画・基本計画や都市計画マスタープランに即して、今後、景観形成の規制・誘導のあり方や基準等の見直しを検討する必要がある。 ⑤ 本施策は法律や条例等に基づき事業者等の行為を規制・誘導するものであり、市民との協働が馴染まないものだが、施策目的の達成のためには市民・事業者の協力が不可欠と考える。 ⑥⑦ 景観形成の規制・誘導のあり方等の見直しのためには、景観まちづくりに関する知識と経験を有する職員を、最低限、現状の人数を複数年に渡って配置する必要がある。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	